京城日報

本紙定價 毎號一部金五錢 一ヶ月前金壹圓拾五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

京城日報 私立學校長就職取消處分

京畿道知事は私立培材學堂及私立培花女學校の兩校長に對し、其就職認可取消の命令を發したること、昨紙に報道せる所の如し。事は微々たる私立學校監督上の處分に過ぎずと雖も、其の經營者が米國人たるの點に於て、はた此の兩校が從來不逞鮮人學生の淵叢と目せられ、一般の注意を惹きつゝありたるの點に於ても、意義の尋常一樣にあらざるを認む。

兩個學校長に對する認可取消の理由は、總督府第一部長の聲明に依り、頗めて明々白々たるを以て、吾人復冗語を添ふるの要なし。萬一當事者其他の米國人にして、此處分に對して不服の念を懷くものあらんには、試に地を易へて考へ見るべし。現今米國に於ては排日熱盛に行はれ、政治的に、法律的に、はた社會的に、我が同胞が各種の迫害を受けつゝあるは、世界に周知せられたる事實なり。而も我同胞は未だ曾て米國の國家組織の破壞を企てしことなく、又其の社會組織を紊亂せしの事實なし。米人の揚言する所を聞くに、日本人は到底米國の風俗慣習に同化するものにあらざるを以て、之を逐斥せざるべからずといへり。其の在住國の風習に同化せざるものは、獨り日本人のみにあらず、我邦に在住する鐵島下の米國人も亦然り。而も我が國民は未だ曾て排米論を唱へざるなり。特に朝鮮在住の米國宣教師又は學校病院等の經營者中には、從來隨分奇怪なる言動を試みたるものあり、吾人は常に警戒の目を怠らずと雖も、議會に之が逐斥を唱へざりしは、如何に傲岸不遜の徒と雖も、內心我國民の寛容を認め居るなるべし。今假に米領布哇に在住する我同胞にして、其設立せる學校又は病院に於て、米國に反抗するの陰謀を策し、布哇の獨立を企畫せんとせんか、米人は果して之を何と見るべきぞ。其の民衆はいふまでもなく、非常の激怒を發すべく、從來米人の異人種に對するの例に徵するに、甚だしき非人道的行動に出でざるを保すべからず。リンチ、虐殺、吾人は之を想像するだに、毛髮の抹立するを覺ゆ。幸ひに民衆的暴行を惹起するなしとするも、米國官憲は斷じて看過することなく、嚴重の處分を加ふる蓋し必然なり。

京畿道知事が外人設立の學校に對し、今回の如き處分に出でたるは、我邦に在りて破天荒の事にして、國際關係よりいふも、又兩國民交誼の上に見るも頗る遺憾とせざるべからず。然れども事は國家社會の問題たるを以て斷じて容赦すべからず。唯第一次の處分は私立學校規則第十四條の適用に止れるは、寛大なるの沙汰なり。若夫第二次の處分を要する場合ありとせば、即ち第十六條の痛棒たらざるべからず。幸に學校當事者の飜然悔悟せんことを望む。

屑屋の籠

寺院解放論 隈汀生

全日本の寺院を解放して社會的施設を行ふの機關となし、僧侶をして、社會の敎化、及び救濟に任ぜしめんとするの計畫、佛教界の改革者椎尾辨匡博士に依りて首唱せられぬ。余は雙手を擧げて之を贊成せざるを得ない。唯若し今日の日本佛教にして、徒に葬式の習俗のみを相手にし、徒に全國五萬有餘の住職をして、死者の葬式と位牌の番人たるに止らしめば、社會はやがて此の宗教の存在を必要とせざるに至るべし。同君が早くも此に着眼して、現狀打破を唱說せるは、流石に彼の勅任待遇に闘喜せる各宗派管長連と其の選を異にするを見る。昨年八月余の東京より京城に歸り來るや、偶々同君と列車を同じうし、余は朝鮮に於ける外國宣教師傳道の現狀を語りて、日本佛教家の奮起を促したることあり。今此の快擧を聞き、佛教界の爲に其の前途を祝福す。

新聞記事に就て

近頃世の新聞紙が、同盟罷工、妨業及び此種の騷ぎを報道するに、餘りに人氣に投ぜんとする傾向なきにあらず、愼むべき事なり。新聞の記事は、動もすれば讀者をして事實以上に想像を逞しうせしむるものなれば、通信員は深く其の影響の及ぶ所を思ふて、唯其の事實を擧ぐるに止め、强て之をセンセイショナルにせざるを要とす。同盟罷工、妨業など、皆今日の生活難に伴なへる人心の不安より起るものなれども、亦一種の群衆心理作用に由りて發するものなれば、是等の通信は成るべく誇張を避けられんことを望む。(三月二日夜稿)

妻となりて 布施生譯

(四十)

侯爵は針葉九郎に逢つて……思ひ付いた事があつて……る親類を訪ねに旅立ち……は流石に氣がひけて……ましかつたが小兒の時……てくれた此婦人が或は今頃……みの綱にならうかと目的もない……の向ふから外れた、婦人と云ふのは父の從妹であつたがやゝ……賴みをしたのであつた、しかし往つてみると目的は例の通り……往きついて其田舍家を訪ねると生憎大病で會ふ事は……さへ謝絕られた、侯爵は失望して離倫へ歸つてきた、それ故雅子の手紙を受取つて會ひに往きは往つたもの、實は一向氣乘がしないのであつたが、しかし雅子の方では兄の顏を見るや否やそく〳〵走り寄つて懷かしそうに兄樣許して下さいましなねね、私此の間別莊ではつい我が儘をして怒りましたわね、あれからね、あの事が氣に懸り通しなのよ、ほんとに兄樣の事が案じられますの、兄樣あの時は何か大切な御用がおありでしたらうに、あんなに無氣なくお斷りしてほんとに濟みませんでしたわね』侯爵の顏色も稍る〳〵晴れやかになつた。

『よし〳〵、雅ちやん、君の心は分つてゐるよ、君が怒つたのも無理はなかつた、全く僕達は眞壁君に厄介を懸けすぎるからね、なあに實は僕が自分勝手だつたのさ』『兄樣今度何か御用がありましたら乾度默には致しませんわ』雅子はやさしく打解けた口調で言つたが次で面を染めながら結婚式の定つた話をした。

『やあそうかい、明日眞壁君の處へ行くのかい、そりや結構だ眞壁君はいゝよ、第一人物が確固してゐる、眞壁君について居れば間違は無い』『そうですわ、私あの方の手助けになりたいと思つてゐるのですよ、あの方はね、もうお手傳ひをさせて下さるのよ。だつて私お手紙のお返事や何か書いてあげるのですもの、私將來は今迄のやうに無駄の生活は送らない心積なの、兄樣何もしないでゐるのは苦しいものですわね』暫時二人とも言葉がきれたが雅子は軈て頭を擧げて兄に向ひ、『兄樣、私は一寸お願ひしたい事があるの、それで態々來て戴いたの、兄樣貴方九郎さんにそう言つて下さらない、私九郎さんが私の事を怒つて居やしないかと思ひますわ。誤解がありやしないかと心配しますのよ、だつて私九郎さんに誤解なんかされたくない、私九郎さんとは小兒の時と同じやうに交情よくしたいと思ひますわ、でもそれ以上は厭です。兄樣何卒一寸其事を九郎さんに言つて下さらない』侯爵は暫時の間返事もなかつたが軈て微に溜息をついて『もう二日早かつたら直にも諾と引受けたんだが惜い事をした、今になつては殘念ながらもう一寸六かしいよ、實は九郎とは喧嘩をしてね、だが雅ちやん、案じる事は無いよ兎に角眞壁君を信じてゐるがいゝ、眞壁君は眞正の紳士で強い人だ、ね、雅ちやん、君の爲に萬事首尾よくやつてくれる人は眞壁君の外にありはしないのだからね』

神仙爐

朝鮮と川柳(一) 劍花坊

朝鮮と川柳と云つても、朝鮮に於ける川柳の話をするのではない、朝鮮へ川柳の弘布することは出來ないだらうか、朝鮮に居る人は川柳家にはなれないだらうか、朝鮮といふ土地は川柳に不適當の土地であらうか、朝鮮には川柳の必要が無いのだらうかといふ問題を解決して見たいと思ふのだ、僕は昨年の秋、朝鮮へ渡つた、單に京城と永登浦とを泉さしか知らないので、朝鮮を論ずることは出來まいが、一斑を見て全豹が知れ、片鱗を捨うて龍體を察することが出來るものなら、居ながらにして知ることも出來やう。すこしは見ずに書くといふ歌人よりも、すこしは進んで議論が出來ると信ずる。僕は朝鮮に川柳の弘布が出來ない、とは思はない、朝鮮に居る內地人が川柳家になれないといふ理窟は無い、朝鮮の土地が川柳に適當で無い、といふ次第は無い、朝鮮に川柳など必要が無いといふ結論は出ない。

懸賞川柳募集

▽課題『看板』『白』『美人』
▽締切 三月十五日限り
▽賞金 一等或は天の句に賞金一圓を呈す
▽注意 京城日報社川柳係宛のこと

株式投資者の指針 實用經濟 月刊雜誌 利殖之友

◇三月號發賣◇

利殖訓 死を止めて富豪となる 小西榮三郎
安全投資か危險投資か 池田
株式界の不況來は大正十一年乎 かぶと町人
株界の遂に悲觀の要なし 稻葉忠兵衛
兜町は未だ買方の天下也 岸林平
株式好況持續乎 岡崎國臣
好況裡に潜む株式の不況 ……飛將軍
株界の悲境は本年末か來年早々乎 南波禮吉
大相場の峠は越した乎 小池國三
株界の不況は何時か? 其解決、對策、時期……
□事業界 生絲 絹布 株式□

特別研究
大阪住宅株の內容
大阪證券の實質如何
川崎造船の將來(何)
大港土地の眞價

會社の內容と株價の觀測
疑問の東京絹毛株
相模紡の今期業績
南滿株の增資と實質
日本セルロイド株如何
人氣集中の中華企業
應募百倍の京濱電力
東洋捕鯨の業績
東信電氣の價値
富士紡株の眞價
日本石油株の增資と實質
石川島造船の前途
□家庭敎育欄□相談部公開
□編輯室より
◇定價一部廿六錢◇半年前金一圓卅錢◇一ヶ年前金二圓五十錢(稅共)
東京京橋區電話局前 利殖之友社(振替東京四二六四〇)

▽損をする事のない ▽何んな六ヶ敷い契約でも間違なく ▽誰にも出來る一切の秘訣を網羅す
契約の仕方
人に誤魔化されぬ ▲座右の寶典

故に損をする事なく又人に誤魔化されず自分の思ふ通りの契約や約束事をしようとする人は一通り法律上定まつてゐる契約の仕方を心得て置く必要がある本書は法律研究者にて多年苦心研究の結果成したもので、契約者一般の心得、契約を履行さす秘訣、契約上注意すべき一切の秘訣は勿論、賣買、交換、贈與、消費貸借、使用貸借、賃貸借、雇傭、請負、委任、寄託、組合、終身定期年金、和解、地上權、永小作權、質權、抵當權……の契約に關する契約書各場合に於ける一切の契約の仕方を法文に照し一々實例をあげて誰にも分る樣說明し各契約に關して……が加へてあるから本書一冊あれば何んな込み入つた事件にても間違ひなく誰にも……

契約書式便覽 ……

有効な契約をなす事が出來る……▽本書は四六判三百頁の大冊にて……▽料金十三錢に割引す ▽希望者はハガキで申込次第代金引替でも送る▽但前金は送料共一圓五十錢に割引 ◇東京麹町區飯田町二の六六 振替口座東京四〇四三五番 三光社出版部

古本と古樂器買入 京城本町 電話二五二七 ウツボヤ書店

京日案內

▲申込後中途掲載中止は料金不返戻 ▲六回以上の申込は特に割引の事

生徒募集 入學希望者ハ規則書請求ヲ要ス 京城黃金町二ノ九八 電話一五四二 シンガー裁縫刺繡院

現株端數物 高價買入 京城本町二ノ三 電話一八八七 三共商會 有本

藥劑師 至急入用 京城太平通一丁目二十九番地 朝鮮化學製藥株式會社

本月左記の場所に移轉す 京城貫鐵洞五十六番地 電話三四二 貿易商 德尚號

店員入用 本人來談 市內に確實なる保證人を要す 京城南大門通三丁目 寫眞材料店 上田

▲露・支語・夜學 四月六日開始 講師露支人 詳細は學校へ問合あれ 善隣商業學校

▼店員入用 京城本町 電話四八九番 大和軒

金融 日鮮人官吏教員會社員の方へ 極秘信用貸金迅速取扱 御相談乞次第參上可致又は御來談 京城本町三ノ四六 大和屋

毛皮なめし 並に仕立 鳥獸剝製標本調製 鳥獸毛皮高價買入 京城本町二 電話長二〇六五番 貿易商

古本比高價買入 是非御賣下乞 御一報早速參上 ◎本町二丁目 電話三一九五番 群書堂書店

女事務員 希望者ハ本人來談アレ 自筆履歷書携帯(小學校卒業程度) 平壤本町五番地 岩田金物店

▲女店員至急入用 電話及計算係 本人來談 京城 三國商會

◎ほねつぎ うちみ くじき 懇切丁寧を旨とす 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

▲高等下宿 京城中學校前 電話二六二五 優溫館

名器ミシン機械 家庭用 工業用 職業用 圓州商品針油 京城黃金町二(電話一九四一番) シンガーミシン會社

▲有給社員募集 希望の方は內鮮人を問はず本人來談あれ 京城龍山榮町二七 ミシン會社龍山分店

炊事係入用 男女各一名 希望者は本人來談あれ 明治町 電話二六〇番 浪花館

客室係女中入用 但シ本人御來談 京城南山町二丁目 大眞樓旅館

外務社員高給招聘 京城南山町京城ホテル前 大正生命京城支部

尋犬 西洋種コリー六歲 毛色狐色茶ノ長毛 首輪ニ類似ス 三月一日夜ヨリ行方不明 御通知ノ方ニ呈薄謝 市內南山町二ノ二六 佐野ツネ

ト宿空間有 旭町二丁目一〇 メソジスト教會奥 原田

店員募集 至急 左記ニ心得アル者貳名 通關ニ經驗アル者貳名 但市內ニ保證人ヲ要ス 希望者本人來談 南大門驛前 協同

看護婦及看護婦見習採用 希望者本人至急來談あれ 京城明治町 電話一六五九 胃腸醫院

玉突臺買受たし 御讓りの方は御一報乞ふ 電話一八五七 京城明治町貳丁目 狩野看板店

褐色レグホン 白色レグホン 黑色ミノルカ 闘鷄用シヤモ 名種卵分讓 大田榮町 角田

▲藥店讓 有利 賣藥三十種 上高武萬 總額六七千圓 右都合ニ依リ讓ル 社內 深堀

◆讓店 本町貳丁目 目抜キノ場所 御望ノ方ハ電話貳四八四番へ

◎算筆に巧なる 內鮮人各一名入用 京城南大門外 齋藤商店

讓店 有利にして資本少なる 賣似付主人歸國に付至急格安に讓る 希望者左記へ來談あれ 仲介謝絕 黃金町三ノ二五六 戎湯前 豆腐屋

▲求商店向貸家 本町又は南大門通 大和町明治町通 店頭半借にても 相當謝禮す 電話三九六番へ

法人登記公告 京川金融組合及南川金融組合登記事項中變更 理事藤本守ノ住所ヲ黃海道平山郡寶山面新南川里四拾九番地ニ變更ス 右大正九年參月壹日登記 海州地方法院平山出張所

給費傳習生募集 通信乙種傳習生 內地人七十名(女子ヲ含ム) 朝鮮人三十名 傳習中相當ノ手當金ヲ給與ス 三月五日以降 詳細ハ最寄郵便局所ニ就テ知ルヘシ 朝鮮總督府遞信局

特許 日用品 一市一郡一手販賣 照會見本品共廿錢要す 三百圓位 九州本線鳥栖町 玉さく良製造所

謝類燒御見舞 京城本町四丁目廿三 京城花園本町支店 島田正吉

産婆徒弟募集 規則要郵券 福岡市 小茶屋 福岡產婆養成所

鶉は滋養の大王 副業の大王
鶉大卵多産 産卵率 卵は滋養 育ち易く少資本 御用命を上候
京城本町二丁目 山本旅館北隣り 日出飼育所
卵特約店 京城本町三丁目 下川商店 電話長四九七・一四七〇番
卵特約店 京城南山町三丁目 をきなや 電話三〇九五番

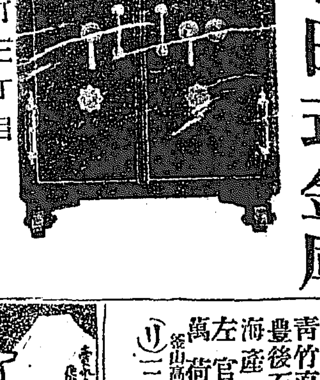
油、脂肪、金屬、硝子、磁器、磨洗淨用 蝶印手洗クリーム發賣 各石鹸製造元 京城元町一丁目 生田組石鹸部(電話龍山八一六番)

時計ヤ 指環ヤ メガネヤ 貴金屬類は
京城本町貳丁目 村木時計店 電話四七一番 振替京城三二九〇
ステツキも有ります

改造

メンガアの國家社會主義……森戶辰男
勞働全收權論……賀川豊彥
批評的精神の誤解……文學博士 桑木博士
福田河上問題の總勘定……山川均
經濟上より觀たる家族制度……法學博士 堀江博士
人口論及貧民と社會……慶大敎授 小泉信三
社會と家族的利己心……帝大敎授 大島正德
クロポトキンの社會理想說……昇曙夢
クロポトキンの國家觀……室伏高信
長篇小說 死線を越えて……賀川豊彥
創作 働の享 自分に云ひ聞かせる言葉……有島武郎
樂化……
田園雜記……正宗白鳥
冬空……江口渙
おせいの失敗……岩野泡鳴
ピルロ……武林無想庵
孔子の歸國……長與善郎
改造社

專賣特許出願中 鐵筋コンクリート應用 谷田式金庫
品切中の處近々新製品各號共多數入荷可致候
型錄說明書進呈 並に地方に有力なる特約店を募る



朝鮮一手販賣 京城本町三丁目 松若商會 電話一四九三番

NEO-HAEMATOPAN 志賀博士指導 ネオヘマトパン

(適應)貧血諸症、神經衰弱、十二指腸蟲驅除後、手術出血後、過勞、熱病、慢性子宮內膜炎、產後貧血諸種傳染病經過後、病後回復期、營養不良、小兒發育不良

ヘマトパンは近世科學に準據し最も理想的に製せられたる藥品にして身體の發育すべきヘモグロビン及腦神經の作用を敏活ならしむるレチチンを含有する故に身體を强壯にし精神を活潑ならしむる唯一の補血滋養劑なり

佐藤、安倍兩醫學博士其他知名醫家二百餘名の實驗報告進呈申込次第進呈 著名藥店に販賣す

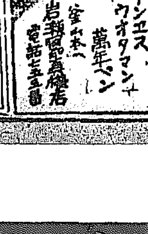
定價 一瓶 二圓五拾錢 送料 十錢

發賣元 日本新藥株式會社
朝鮮代理店 宮本千粒堂藥局
京城本町四丁目 電話三一二七番 振替京城四九五七番

最新刊
社會問題總覽……
國民道德新論……
工場策理法……
能燈籠……芥川龍之介
花咲ける曠野……
恐怖時代……谷崎潤一郎
奇人變人錄……
偉人の言行……
阿波十郎兵衛……
京城本町一丁目 大阪屋號書店

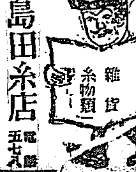
釜山商店案內

青竹直輸入販賣 豐後石炭一手販賣 海產物肥料商 左官用海草 萬荷受問屋 釜山高島町 (リ)三谷商店 電話一一二番



サンエス ウオタマン 萬年ペン 岩瀬書店

糖粉、乾物、食料品、煙草、罐詰、雜貨 釜山 合名會社 山西



(糸)島田糸店 電話五七八

洋酒・罐詰 糖粉・官煙 釜山 (東)あづまや商店 電話三五九番

酒精、燒酎 西貢米、碎米 砂糖、麥粉 釜山埋立新町 福榮商會

洋鐵鋼鐵道船舶土木建築材料其他工業諸器械附屬品商 釜山辨天町 角野商店

スマートシトロン 石鹸界之覇王 精選品質本位 釜山工商株式會社

山東保留案可決
ロッヂ氏の提案に係る

元老院は共和黨領袖ロッヂ氏の提出に係る山東に關する保留案を可決せり(華盛頓電報)

モンロー主義ロ氏案可決
元老院はモンロー主義に關しロッヂ氏提出の講和條約保留原案を廿五對五十五票にて可決せり(華盛頓電報)

土國海軍全廢
最高會議にて決定

聯合國最高會議にては土耳古に海軍を置かしめざることに決定せり(巴里電報)

フユーメ問題解決形勢
英國にて折衷案作成

四國會議は主としてアドリアチック問題に就き審議中なるが同會議には珍田大使も參列し居れりフユーメ問題は遂に英國にて伊國の主權を認せざる範圍にて解決す可き折衷案を作成し之を伊國政府に內示し其同意を求むる所ありしが右は最近倫敦會議にて纏りたるを以て米國政府の同意を得ユーゴースラブの反對せざる限り之が解決を見る可き形勢なり(倫敦電報)

獨兵力侮り難し
最近英國の調査に係る獨逸陸海軍の現在總數は航空隊を合せて百六萬二千人にして之を內譯すれば常備陸軍四十萬人、常備海軍一萬二千人義勇軍二十萬人地方護國軍四十萬地方警察隊五萬にして決して侮るべからざるものありと(倫敦電報)

一部犯罪者審問
其の數五十六名

聯合國は私訴として聯合國の特に選定したる一部の戰爭犯罪者を獨逸裁判所にて審問することを許可するに決せり右は二月二十八日巴里に於て戰爭犯罪者委員會開會の結果決定せるものにして選定せられたる戰爭犯罪者は五十六名なり其の內英國の選定したるもの七名、佛國十二名、白耳義十五名、伊太利四名其他は波蘭及び羅馬尼の選定に係るものなるが此の名簿は最高會議の承認を經たる後五頁に亘る附帶條件と共に一週間內に伯林に送附せらるべしと(巴里電報)

佛鐵道罷業終熄
既電の如く佛國にて鐵道罷業起り產業の不振を來しつゝありしが漸く終熄せり右は首相の調停に依るものなりと(巴里電報)

歐洲貿易逆調
最高經濟會議開會

最高經濟會議は巴里に於て開會されたるが同會議の豫想する所に依れば戰爭の結果歐羅巴の貿易狀態は逆調を呈し年額十億磅の輸入超過を見るに至るべしと(倫敦電報)

奇怪說出所判明
日本中傷は凡て捏造
浦鹽新聞過激宣傳

浦塩一番川の○○が○○に遡航したりなど頗る穩かならざる報道內地に傳はりたるが其出所が敦賀なるより敦賀憲兵分隊にては二日以來大活動を開始し右の奇怪なる風說が何者に依つて流布せられたるかを調査したる結果一日入港の露國義勇艦ペンザ號の給仕バーナトハーが露國新聞に掲載せられたる記事を同船出入の洗濯屋某に傳へたることを偶々某新聞通信員が耳にし其の儘吹聽せられたるものたること判明し撤兵後にては敢ず急電を以て關係所に報告したるが最近の改變で浦鹽に於ける新聞紙は總て赤化し過激派の宣傳機關たるに至れるを以て日本を中傷すること甚だしく中には○○○が全員悉く○○○に捕はれ內○○四名銃殺せられ他は總て○○に護送せられたりなど信ずべからざる無根の記事を掲載しあり一番川の○○の遡航も赤化せる新聞の捏造說にて敦賀にて之を傳へたる船員も過激派の旨を受けたるものに非ずやとの說あり(東京電報)

前獨帝を遠地へ

兩問題商議終了

革命軍ニ市占領
セミヨノフ將軍逃亡か

革命軍は黑龍江沿岸のニコリスクを占領せり尙セミヨノフ將軍は滿洲に逃走せりと(浦鹽電報)

邦人黑龍州へ引揚
黑龍州に於ける第十四師團の集結と共に同州各地にありし我居留民五六百名は漸次同地に引揚げ來らんとする模樣あり而も目下同地方は食料缺乏し居れるを以て多大の困難に遭遇すべく又西部後貝加爾ウエルフネウジンスクの邦人は早晚引き揚げざるを得ざる狀態にあり尙チタに於ける邦人居留民中には既に商品を投賣せるものありと(某所着、東京電報)

米兵輸送完了期
チエック軍浦鹽集中

米國の西伯利撤兵は二日より着手し第一にチエック幹部を輸送し終り後米兵輸送の順序を立て三月下旬迄には大部の輸送を終る筈なるが目下出來得る限りチエック軍を浦鹽に集中せしめつゝありと(東京特電)

兩線運賃引上
沿海州線及び烏蘇里線は三月一日より貨物運賃を現在の十倍に引上ぐべき旨發表せり(浦鹽電報)

靳總理漸く登廳
靳總理は二日漸く辭職並に請暇を取消し三日より國務院に登廳せり(北京電報)

別報
靳總理の辭意は案外强硬なりしが段祺瑞氏が同總理を招致し懇々說諭せし結果之を機會に一先づ辭意を取消したるものなりと(北京電報)

時局解決討議電請
張作霖、曹錕、李純、熊克武、唐繼堯氏等の連署を以て最近徐總統、靳總理、岑春煊氏に對し新舊兩國會を取消し各省より代表一名を出し時局解決法を討議しては如何と電請し來れり(北京電報)

山東保留堅持切望
米支協會米上院に打電

上海米支協會は米國上院議員に對し左の電報を發せり(上海電報)

米支協會は茲に北米合衆國上院議員に對し敬意を表示して請願し且つ主張する事左の如し

支那をして歐洲戰爭に加入する事を勸誘せられたる吾國の名譽を保持し且つ吾人をして將來の行動の自由を有する爲め吾人の絕對的權利を明白にする能はざる場合に米國の利害は極めて危險を蒙るを以て米國の緊要なる利害を保持せんが爲一千九百十九年十一月十五日北米合衆國上院の採用せる巴里平和條約中の山東に關する保留を堅持する事を切望す

果して南方の意思か
發表の分以外日支密約なし

北京政府は北方代表王揖唐氏に對し『在上海英國人ラットレー氏より南方の意見は唯北京政府が日支密約全部を廢棄することを望むと云ふにあり若し之を廢棄する時は直ちに和議を再開し得べし』との電報に接したるも日支協約は既に外交部にて之れを公表し其の他には何等密約無しラットレー氏の說く所は果して南方の意思なるか詳に其の上至急返電せよと打電せり(北京電報)

趙督軍獨立企畫
政府若し督軍を更迭せば

河南督軍趙倜氏は若し政府が同督軍の更迭を爲さんとするに於ては直に獨立を宣言し黃河の鐵橋を破壞すべき計畫ありと傳へられ一般は注目し居れり(北京電報)

陸總長後任推薦
最近辭職せし陸徵祥氏は外交總長後任に陳次長を推薦せり(北京電報)

平和局新設置
四月一日より事務開始

平和條約履行に關し新に外務省に平和局を設置すべく右は專ら媾和理事會の開催に伴ひ其必要事項に就き調査研究の上立案す可き重要事務を取扱ふものにて四月一日より事務を開始する筈なるが局長は埴原次官兼任すべしと(東京特電)

樞府任用令讓步
讓步案內容=國勢院官制可決

樞密院に附議中の鐵道省國勢院官制は既に委員會にて可決されたるが文官任用令と一括して本會議に附議さるる事となり居れるが文官任用令に就ては樞密院にて愼重審議の結果政府の讓步を認めたりとて漸く解決の曙光を見るに至れり樞密院讓步案の內容は大略左の如し(東京電報)

一、各省次官內務警保局長拓殖局長官を自由任用とす

二、勅任官中製鐵所長官兩院書記官長等記官長等敕任の勅任官に限り銓衡任用に同意す

三、奏任官に對しては技術官等現行任用令が特別任用を認むる者の外一切銓衡任用を認めず

四、銓衡委員會は政府案通り法制局長官を會長とす

五、參政官副參政官廢止

六、政務官性質の勅任參事官は新制度に存せず

山公時勢を洞察す
活眼には敬服=普選尙早
田臺灣總督談

二日山縣公を小田原古稀庵に訪問し三日歸京せる田臺灣總督は語つて曰く『余の古稀庵訪問は世間傳ふるが如く特に老公より招かれたるものには非ず臺灣統治に關する現在及び將來の方針に關し親しく老公に對して余の懷抱せる意見を披瀝せんとの希望ありしが偶々議會の解散に依り小閑を得るに至りたるを以て之を果したる迄にして其他何等の意味を有せず老公との會見は約五時間の長きに亘り財政經濟其他社會問題に就ても種々意見の交換を試みたるが普通選擧問題に就ては昨年八月老公と會見の節專ら研究論議を重ねたることあり老公は社會に瀰漫しつゝある思想の潮流に對しては深甚の注意を拂ひ且つ最近に於ける種々の宣傳の盛んなるに鑑み早晚普通選擧實施の必要を認めつゝあるも今直ちに普選を實施せざるべからずとの主張に對しては時機尙早の意味に於て反對の意見を有し居れるもの、如し而も公の頭腦は明晰にして且つ意外に進步し居り能く大勢の趨く所を洞察するの活眼に對しては敬服の外なし議會解散に對する老公の意見に關しては何等纏まりたるものを聞くを得ざりしが其の片言の間に解散前既に政府の意向を看取し居りたるを察せられたり要するに余と老公との會見は臺灣統治問題を除きては全く雜談的のものにて纏まりたるものなし云々』尙田總督は三月中旬京城四月早々歸臺の豫定なりと(東京特電)

正貨現在額
大藏省調査に據る二月廿八日現在[illegible]

地方長官會議
地方長官會議は十六日召集十七日首相官邸に於て開會し首相の訓示あり尙十八日內務省に開會の筈(東京特電)

鐵道院雇員傭人年金實施
鐵道院にては雇員傭人にも年金制度を施すべく決定し居りしところ偶々議會解散の爲め實施期日未定となりたるが協議の結果斯かる緊急なる制度の改正は成るべく速かに實施することに決定したるを以て經費支出の途を發見次第直ちに總裁達を以て發表する段取となるべしと該制度の內容は尙秘密に附せられ居れるも十五年以上の勤務者に對しては退職當時の給料の三分の一を支給し又十年以上の勤務者にして公務に基づく負傷又は疾病の爲退職する者には退職時給[illegible]の二の一を支給し又右年限の恩典に浴する能はざる者は共濟組合に於て退職手當てを給することゝなるべしと(東京電報)

貴族院各派對政意嚮
官紀問題に肉薄

議會解散に就き貴族院各派はそれぞれ臨時總會を開き講和の成績問題に就き協議する所ありたるが議會中外交事件に關して最も愼重なる研究を遂げ國家の爲め萬全の策を講ずべしと云ふに一致したるが今各派の意向を綜合するに之れを外交上の問題として政府を糾彈せんか國際上面白からざる點あるを以て官紀振肅問題として肉迫するに決せしもの、如し其の理由は外交問題として政府を追窮せんか勢ひの趨く所延いて對外的信用失墜の懸念大なる者あり殊に目下のところにては英佛兩國共に諒解すべき形勢あるより一層輕擧を戒めざるべからずされど之を官紀問題として闡明せんか斯る重大なる秘密を洩らしたるは外交當局の大失態にして其責任を問ふの要ありされば右は飽迄も官紀問題として肉迫する方其目的を達する所以なりと某貴族院議員は語れり(東京電報)

近く發表
滿鐵增資形式
中西副社長談

滿鐵副社長中西清一氏は三日歸任せるが其の談に曰く『滿鐵增資問題に就き迂餘曲折ありたるは事實なるも世間傳ふるが如きものには非ず右は議會解散前既に政府との間に協定を遂げ增資は確定せるが議會解散に依り經へ得ざる形式を要するものは後廻しとし近く增資の形式等發表さる可き都合となり居れり』(滿鐵特電)

兩將官檢閱使
四日左の辭令ありたり(東京特電)

海軍特命檢閱使被仰付 海軍大將 山下源太郎

海軍特命檢閱使附被仰付 海軍少將 中里重次

宮相小田原行
波多野宮相は四日小田原に赴き高松宮殿下の御機嫌を奉伺し後山縣公を古稀庵に訪ひ歸京せり(東京特電)

出淵大使著期
獨逸代理大使に任命されたる出淵勝次氏は二月二十五日華盛頓發三月十日頃獨逸に到着の豫定なり(東京特電)

砂糖輸入稅改廢同盟會請願
今回京阪神の實業家により成立したる砂糖輸入稅改廢期成同盟會は糖價の際限なく騰貴するを遺憾とし本邦砂糖製造業者保護策の不必要なる事を力說し外國糖の大輸入を爲し砂糖を豐富ならしむるは國民生活を安定せしむる所以なりとの意味の請願を當局に提出したり(東京電報)

同時に朝鮮中部を劃したるもの、如く是が爲め[illegible]今朝は[illegible]江原道沿岸に少雪を催[illegible]

天氣豫報 北西風 晴一時曇

荻田氏立候補
前總督府總務局長荻田悅造氏は今回の總選擧に郷里より出馬すべく決定したるが同地は尾崎行雄、濱田國松氏等の競爭あることて苦戰なる可し因に氏は絕對中立を標榜し居れるも政友會と諒解ある由(東京特電)

養狐業開始
上林知事の獎勵

上林咸北知事は豫て養狐業を獎勵しつゝありしが今回東京府村松某氏之れに當ることゝなり咸鏡北道に養狐所を開く筈にて黑色狐を養ひ成績を見たる上各地にも附設する筈なるが咸北は氣候上北鮮に最も適當なる由(羅南電報)

鮮銀清津披露宴
鮮銀清津支店の披露宴は六日、七日と決定し官民多數招待すべしと(羅南電報)

鮮鐵大會社說
土木業者提唱

滿鐵增資に伴ふ鮮鐵の提供に反對したる京城土木建築業者中に右反對の希望中央に於て決定せるを知り更に一歩を進めて朝鮮鐵道を政府出資一億五千萬圓とし民間より一億五千萬圓を募つて三億圓の大會社を組織し朝鮮の鐵道經營を行ふべしとの唱道をなすものあり右は一案として近く商業會議所に保留されあり或は近く何等かの形式により動くべきかとも觀測され居れど滿鐵對總督府關係その他の事情上可能性を有するか若くば政府に於て問題とすべきかは多くの疑問あるに似たり

東拓增配乎
當期業績良好

東洋拓殖會社の本年度利益金は月末の締切りを待たざれば判明せず各支店共追々決算に取り掛るべきが本年度會社の益金は(一)米價高(二)金融部の活動により著しく增大せりと信ずべき根據あり素より鐵道管理會社の株券引受け新支店創設費債券發行利子其の他により經費の增嵩收入の未到來等も相當多ければ各種の點より觀察して差引利益金二百二三十萬圓に上らん形勢にあり該利益金を生むに到れるは前期並に前々期に於て思ひ切りたる償却を行ひたる結果も加はり居れりと要するに成績の良好を擧げざる可らず旁今期の株主配當に對し前期八分なりしを一割になさんとの內議あるやにて政府の意向も參酌し遠からず決定するに至るべきが從來年率(三千萬圓)以外に年八分以上配當をなす場合には政府持株に對しても亦他株主同樣の配當を要する事は東拓法の定むる所たり從つて重役並に

一部株主 中には配當を依然八分に留め政府持株無配當の特權を享受するを可とすとの意見もあれど然も償却し盡すべきものを償却し盡したりとせば此際政府持株無配當の特權に拘泥し增配を行はざるは不可なりとの說は漸く有力ならんとすと稱せらる

公募現株割當期
京城株式現物市場株の應募總計は尙ほ確數を知り難きも當局二百五十倍より二千二百倍の間にあり創立事務所にては申込の數により區分を行ひつゝあるが結局確實の統計出來後創立委員會を開催して割當方法を決定するに至るべし然もその期は諸種の關係上十日以前には不可能なるべきかと云ふ

產鐵實測着手
金泉安東間

朝鮮產業鐵道會社にては東拓支店樓上に本社を移したるが近く重役來城の上同社の創立披露をなすに至らん又同社線路の敷設は第一期線を金泉安東間七十二哩三分とし來る二十日頃より取締役兼技師長中西鍊次郎氏主任の下に實測に着手し續ひて土地の買收に移るべし尙第二期線は目下出願中なる晉州三千浦間としその後漸次他線路に及ぶべし會社の許可線並に豫定線路は左の如く總哩數約四百哩を越ゆる由

金泉安東間七十二哩、中和遂安間四十八哩、鎭南浦溫井里間十七哩三分、孟中里江界間百五十八哩(以上許可線)江界中江鎭線、谷川鐵原線、金泉晉州線、晉州三千浦線(以上豫定線)

自動車會社許可
志岐信太郎釘本藤次郎氏等より出願中なりし資本金一百萬圓の朝鮮自動車會社は四日附許可されたるが同社は京城春川間、京城忠州間京城仁川間等に於て旅客輸送を行ひ當局の許可を得ば京城市中電車未設線に於て自動車營業をもなさん計畫あり又市中自動車營業者の合同もある程まで可能の模樣にて相當前途を囑望され居れり尙は株式は約二十內外を劃して近く公募に附すべく社は四月中に創立を了する目論見なりと

九年度李王職豫算
總額二百卄四萬八千二百七圓

李王職大正九年度歲出入豫算は總額二百二十四萬八千二百七圓にして目下總督府に於て查定中なるが其細目左の如し

歲入

●歲入經常部●	
歲費受入	百五十萬圓
前年度繰越	七萬三千六百四十二圓
森林收入	十三萬二百圓
雜收入	十四萬四千三百六十五圓
計	百八十四萬八千二百七圓
●歲入臨時部●	
基本財產受入	十萬圓
不動產賣却代	三十萬圓
計	四十萬圓

歲出

●歲出經常部●	
內殿費	六十七萬三十八圓
李王職費	八十六萬三千八百卅六圓
豫備金	十萬圓
計	百六十三萬三千八百七十一圓
●歲出臨時部●	
祭享費	五萬六千百五圓
內殿復舊工事費	三十五萬八千百五十二圓
若宮御慶事費	十一萬五千圓
其他	八萬四千九百七十九圓
計	六十一萬四千三百卅六圓
總計	二百二十四萬八千二百七圓

京電水力企畫
岡本電氣課長談

京城電氣會社の北漢江に於ける水力發電の設計に關し岡本電氣課長は語る『當方には未だ正式の書類は廻付し來らざるが目下種々なる都合上土木局に於て設計に關する調査を進めて居る朝鮮將來の燃料問題の上より見ても無論水力發電の出現を希望する而して京城電氣會社の如く既に火力發電の設備あるものが更に水力發電を併用することは頗る好都合なりと云ふ理由は京城電氣會社が既に電力供給を目的となす以上之が設計に當つては朝鮮に於ける河水の變化多きに留意せざるを得ない而して朝鮮に於ては渴水時と低水時平水時とによりて水量に非常なる差を生ずる而も渴水時の期間は長期でないとすれば設計に際しても渴水時を基礎として計畫するよりは平水時を基礎とするが有利で渴水時の期間の水力不足を火力を併用せば更に有利である此の點に於て京城電氣會社の水力火電併用は有利なる地位にあると思ふ何れ當局に於ても運輸狀態や自然落差によらざる堰堤を築設せる人工落差に就ては充分の調査を遂げ許可することせば恐らく起業着手は大正十年以後のことであらう』

京電水力內容
京城電氣株式會社の水力電氣計畫は既に當局に於て調査を進めつゝあるが其の設計の內容は屢報せるも其の詳細は北漢江清平里附近に於て本流を橫斷する堰堤を築設し水位を高め落差を利用して水力を發電せしめ堰堤の一端に發電所を設け他端に舟の運航を自由ならしむる爲め閘船渠を作り二個の閘門より水位を上下し舟を上流又は下流に移船せしむるものにて水力發電所並に之に附帶する送電線路變壓所等の營築をなす計畫なり而して總經費は大約六七百萬圓に上るべしと云ふ

人事
▲小林大尉三氏(朝鮮總督府囑託一等獸醫) 事務打合の爲五日來城

▲大內暢三氏(東亞同文書院幹事) 五日發歸任

▲高市通正氏(第廿師團兵器部長) 四月五日より馬山に出張

▲大野軍參謀長 豆滿江狀況視察中の處季正尉を從へ六日夜歸京の筈

▲早川第廿師團軍醫部長 十七日夜歸城

▲永宮一也氏(第二十師團軍醫) 滿洲に出張中の處六日歸城すべし

▲西田大佐(第廿師團參謀長) 五日發馬山釜山晉州地方に出張

▲森飛行中尉 大飛行準備の爲五日朝來城

▲益田工兵中佐 大飛行朝鮮指揮官として六日來城の筈

▲岸早飛行中尉 同上

▲淺見與四郎氏(前商銀南大門支店長) 朝鮮銀行可事として同行に入り營業局勤務となれり

▲中村精七郎氏(回漕業) 五日退城

▲池川季雄氏(外務省事務官) 同上

▲鈴木和之助氏(外務省囑託) 同上

▲小仲勝治氏(大連實業家) 同上

▲木岡範氏(大連實業家) 同上

▲松浦和輔氏(奉天實業家) 同上

▲阪田鳴海氏(南朝鮮鐵道社長) 四日夜入城朝鮮ホテルへ

▲ウンベルト、グアアー氏(伊國大使館附武官海軍大尉) 四日夜釜山通過內地へ(釜山特電)

▲廣江澤次郎氏(東洋蓄真電役) 月十九日六個月振にて歸城したるが上海出張中健康を害し目下大和町自宅にて靜養中

重要電報 欄外にあり

寸鐵
▲露國の崩壞は北滿地方に於ける露國の勢力を政治上にも經濟上にも根柢から覆へして日本の勢力がこれに代るに至つた事は素より當然の成行きとは云ひながら今更今昔の感に堪へない▲殊に哈爾賓を中心とする北滿地方の如きは露國の金融機關は殆ど其活動力を喪失し支那側は未だ其力の及ばざる結果各銀行とも需用大いに增加し就中支那人方面よりの需用は殊の外多く全く應じ切れぬ有樣だ▲哈爾賓を中心とする北滿地方の通貨としては露國のロマノフ紙幣即ち帝政時代に發行した舊紙幣がある支那の通貨は吉林黑龍江兩省の官帖中國銀行及び交通銀行の大洋票並に小洋がある▲其外に我が朝鮮銀行發行の紙幣及び同形、日本銀行兌換券等其種類が甚だ多い從つて之等各通貨の相場を定める必要がある▲支那人は一般に貨幣を貨物と同一視してゐるので通貨の賣買に依つて利益を得んと欲する所から各地に相場が立てられてゐる▲通貨の取引は從來露支兩貨の間にのみ行はれてゐたが露貨は極度に暴落した爲め今では日支兩通貨の間にのみ立てられてゐる▲最近禁止令で日本通貨の流入を防止する事となり表面上相場は立てられないが路傍や仲買人の家などで私かに相場を立てゝゐるとの事だ▲是を見ても日本通貨の普及してゐる事が分るであらう

聯合會貸出
八百餘萬圓

殖銀　各道金融組合聯合會に對する朝鮮殖產銀行の貸附狀況を聞くに一月末現在は八百六十八萬六十圓にしてその內譯左の如し

本店	九一八、〇三八、五九
淸州	三九〇、一九七、二六
公州	八七三、三四〇、二〇
全州	六五七、八〇〇、三〇
光州	五六六、〇〇〇、〇〇
大邱	六九九、〇〇〇、〇〇
晉州	七六三、〇〇〇、〇〇
海州	六八三、八〇六、〇〇
平壤	七八九、二〇〇、〇〇
義州	七六一、二二五、二〇
咸興	四三〇、三九九、九八
成川	九一八、七二〇、〇〇
鏡城	二一三、〇〇〇、〇〇
總計	八、六八六、七二七、六八

種別	村落組合	都市組合
定期	三〇三、三三七	……
年賦	二、三九九、四四〇	……
特別	……	一、一三一、〇〇〇
短期	五四〇、二〇〇	一〇〇、〇〇〇
當座貸越	一、四六六、一四三	九九、九四〇
同	一七七、四四六	一〇、〇〇〇
合計	七、三四五、七八七	一、三四〇、九四〇

土木所長會議
土木出張所長打合會第一日は五日午前九時より總督府第二會議室に於て西村土木部長統裁の下に開會午前中は打合事項、午後は人事に關する打合せを爲し午後三時散會せり

定例局部長會議
總督府にては五日午前十時より第一會議室に於て定例局部長會議を開きたり

辭令
左の辭令ありたり

任總督府警察官講習所教授兼總督府道警視(敍高等官七等) 高木國則

釜山の主株
人氣沸騰

京城現株公募の申込中釜山各銀行の取扱總數約二百七十五萬株に達せるが其內容左の如し(釜山特電)

第一銀行支店三萬二千株、百三十銀行支店三萬株、殖產銀行支店一萬一千株、十八銀行支店二萬株、漢城銀行支店二萬株、釜山商業銀行二百五十七萬八千株

李完用伯微恙
李完用伯は一兩日前より咳嗽の爲め來客を謝絕し自宅に於て治療中なり

○木村理事轉任說　木村殖銀理事の日本倉庫銀行常務說は殖銀にては絕對に否認し居り又可能性を有せざるが如し

○郡參事辭職　黃海道海州郡參事朴文教氏は二月廿八日附依願解職、又慶南昌原郡參事河在容、同道泗川郡參事張麟相、同道河東郡參事金洪泰の三氏は此の程何れも依願解職

○入場券發賣　朝鮮線入場券發賣停止中なりし京釜線沿線外六十三驛を追加し來る十五日より發賣を開始すべしと

公會私會
▲愛國婦人打合會　四日午後二時愛國婦人會朝鮮本部に於て常務委員會開催佐々木、京口、朝倉、住永の各夫人出席近く內地へ歸還すべき金谷夫人送別茶話會其他の件を打合を爲したるが席上家庭改善、舶來品輸入を控へ目にする事等に關し打合を爲したりと

▲特派員團發會式　京城駐在各新聞代表者は豫て朝鮮現下の狀勢に鑑み特派員團組織の計畫なりしが五日午後七時より旭町料亭千代本に於て發會式を擧げたり

▲謹告▼

來ル七日第一日曜日定期休業ニ付御用命ノ御方ハ成ル可ク六日中ニ御用命仰付被下度候

京城日報社代理部 電話六千九番

各位

[illegible]の地步を占めしは[illegible]內保險[illegible]會社を通じ三十有[illegible]十萬圓を算するの盛況を呈せり
[illegible]も亦世界第三位を下らざるの四社を數して戰前に比し數位の◎然して現在海上保險三十四社
內容を示すに至りしが更に海上發達を遂げ海運界の基礎的發達の內元受保險會社十七社再保險[illegible]せり
四五十萬圓程度に增進し其殖額[illegible]を倫敦市場に提供する狀態に[illegible]
[illegible]は總て內地市場に消化せらる[illegible]の發展を見るに至れるのみ[illegible]す東京海上日本海上の兩保險[illegible]先發一流元受會社が互に反目し[illegible]事業上の秘密防衛的の見地より再保險分配消化範圍を自社の[illegible]險業の一大缺陷と云ふべし
◎海上保險の統一的整理は獨り本邦のみならず戰爭を機會に急なる打擊を蒙り戰爭の終局は自然危險を帶び轉て海上保險界大混亂を呈せざるにも限られざれ[illegible]

對ウ氏回答文脫稿

公報に據れば最高會議はウイルソン氏の公文に對する回答文を脫稿したるを以て三日之を華盛頓に發送す可しと（倫敦電報）

瑞典危險思想化

瑞典の勞働者は日々危險思想化し最近大衛戍地たるボーデン及びバントル市の軍隊內に兵卒會議の秘密組織ありアムラハッケン市も亦同盟罷業盛んに起りつゝあるが過激派は此の間に處し巧に宣傳をなし今や過激主義者約四千に達せりと（華盛頓電報）

前獨帝と和蘭決意

事情通の觀測に據れば獨逸前皇帝引渡し問題に就き和蘭政府は從來の決意を確保す可き事を信じ居れり（倫敦電報）

エストニア平穩

過激軍エストニア顚覆否認

羅馬滯在中のエストニア使節は露國過激派軍がエストニア政府を顚覆し政權を握りたりとの報道を否認せる公電を接手せるがエストニアは至つて平穩にして同政府は依然健在なりと（羅馬電報）

孟實業界に雄飛せん

奉天張巡閱使邸に滯在中なりし孟吉林督軍は四日午前十時四十分奉天發京奉線列車にて歸途に就けるが孟氏來奉の目的は河南督軍熱河都統若くは北京總統府保軍統領等諸問題の一なる可く張氏の諒解を求むる爲めなる可しと傳へられゐたるも確かなる方面より聞く所に據れば今回天津にて創立さる可き百万元十萬圓全部拂込の紡績會社の件に就き張氏の賛成を得可く尙他には吉林に殘せる鑛山森林等の私有財產整理の件も附隨せるもの、如し天津紡績は李純氏を始め多數有力者の賛同あり張氏も十萬圓の投資を承諾せる由從つて機械類も既に上海にて四十餘萬圓の約束にて買收契約を終り舊二月中には工事に着手する段取なりと因に孟氏の相貌は近來非常に肥滿し元氣旺盛に在りし當時に比し幾倍せるものあり又氏は全然意を官海に斷ち將來專ら實業界に活動す可き方針なる旨言明し從つて河南督軍熱河都統若くは總統府保軍統領問題等に就き其筋又は僚友より慫慂されたるも悉く拒絕せる由なり（奉天特電）

米駐支公使任命

米國々立銀行總裁チャールス、アール、クレーン氏駐支公使に任命されたりと（華盛頓電報）

松平伯辭任

松平伯は病氣の爲貴族院議員を三月一日限り辭任せり（東京特電）

志岐中將一行　遼陽驛

第十六師團長志岐中將以下廿五名の將校は五日午前六時遼陽驛著列車にて安東縣下車九連城附近義州等の戰跡や同學の上新義州一泊六日同地を經て安東に來り[illegible]任の豫定なりと（安東特電）

露陸軍中將通過

前オムスク政府陸軍大臣中將アレキシス、アートバール氏は四日釜山上陸午前十一時發鮮滿直通列車にて北行元山に向ひたるが右は浦鹽より同地に亡命せる露人を哈爾賓に送るべき用務を帶び居るものなりと（釜山）

大阪敎育視察團　大邱

大阪敎育視察團（團長花ケ崎校長伊藤菊次郎氏以下敎員六名は四日午前義州著日曜館に投宿午後安東縣を視察し五日は新義州各學校參觀製紙會社等を巡覽し[illegible]

第一印象（七）

一記者

鈴木東拓金融課長

▲顏蠹はうすく眼は細いがドコとなくデップリして福相に見ゆる親指の頭程もある砂金のネクタイピンを胸に光らしてゐるのが目につく、ヘエッヘエッ……と云ふ笑ひ方をする

▲從前一寶石の奉天領事任後東拓京城支店の金融課長になつた、日本勸業銀行で不動產金融の方を多年鍛へ勸銀から轉じた人である、今日では朝鮮肥料會社の取締役も兼ねてゐる

▲金融には相當の見識と經驗を有つてゐるが、總務の執行は天下的的の命令や色々の關係上君の思ふやうに行かぬ點もあるらしくそこに君の焦慮があるやうに云ふ人もある、眞僞は如何であらう

▲企業部長の夏秋理事は役人上がりで此道に何程の活きを有してゐるか、本社金融課長も大した人でない、君は此點に於て東拓金融部の主力だらう、或は未來の理事位の野心もあらう

▲東拓の朝鮮內貸出しは兩三年前まで六七百萬圓だつたが、現在三千萬圓を越ねてゐる、然し尙ほ進出の餘地はありすぎる、半島のために努めて欲しい

午後六時發列車にて平壤に向ふべし（安東縣特電）

土木部長訓示（三）

道土木課長會議席上

漁港設備　漁港の施設に關しては既に國庫の補助に依り竣功したる者あり又本府に於て實地の調査を爲し修築に移送したる計畫書を添へ關係道に關する計畫も尠からずと雖も其の計畫の適否に付ては實施に先ち尙十分愼重の考慮を爲すことを要す漁港の修築に付ては單に土木的技術上の研究を以て足れりとせず漁港の種類其の性質目的、位置及設備の方法等に付ては特に漁業上の見地より愼重の考慮を要するものなるに付其の計畫及實施に付ては漁業關係職員と十分の聯絡を保つべきは勿論可成地方當業者の希望又は意見をも參酌し能く地方實際の要求に適應すべき一定の計畫を樹立し之が實行を期すへし尙漁港修築の計畫に付ても前項末段の注意を怠らざることを要す

市街整理　市街の整理は都市の發展と市民の保健上極めて重要の事業に屬するのみならず地方一般の狀況に徵し今後相當の發展を爲すべき市區に付ては其の事情の未だ複雜せざるに先ち豫め相當の計畫を樹立し其遂行を容易ならしむるの必要ありと認む其の計畫を立つるに方りては其の市區の狀況に應じ成るべく商業地區、工業地區、住居地區等の配置を適當に區別し之に相應すべく街衢の制定を要するは勿論學校、病院、市場、屠場、公園其の他公共的の施設等を考慮し先以て全般に亘るの計畫を樹立するを要す產業の發達は漸次都市の膨脹を促進し市區改正事業の必要愈多きを加ふべきと同時に其の時日を經るに從ひ其の實行は益困難となるべし此の點深く各位の注意を要する所也

事務處理　事務を處理するに當りては簡易敏活を旨とし處理の遲延せるが爲に企業者若くは當事者に不利苦痛を生ぜしむることなき期すべきは一般職員に對する政務總監の訓示に依り既に各位の服膺せらるゝ所なるを信ずるも特に重要の事項なるを以て此の機會に於て重ねて注意を促す所なり土木關係の職員は請負人又は物品納入者等に直接接觸するの機會多く其の間往々にして情弊を生じ易きが故に各位は特に此の點に留意し自ら清廉身を守り公正職に服すると共に部下職員に對し常に公正廉潔なる氣風の涵養振作に努めらるゝことを望む（完）

平北畜產趨勢

安東支局　一記者

（十三）畜牛の比率

道に於る現在畜牛頭數は十七萬九千四百八十一頭にして農家戶數十八萬七百二十二萬戶に對する飼育比例は一戶當り一頭耕地面積三十四萬九十二町に對する一町當り畜牛數は〇、五頭三分、全面積百七十八萬四千方里に對する一方里畜牛數百一頭、人口百二十八萬八千七十八人に對する千人の飼育數は百十六頭の割合なりとす

（十四）當局の理想

本道に於ては大正八年より向ふ十年計畫を以て畜牛の增加を圖りつゝあり、即ち大正八年以降年々若干づゝの消費及道外搬出數の增加を見込み實際の增加は假りに每年同一率とし此の數八千五百餘頭と見做すも、今後十年後即ち大正十七年には此の總數二十六萬餘頭に達せしむべきは決して根據なき數字にあらざるを信ず若し果して其の所信の實行を見得るものとせば大正十七年に於ては此の畜牛より生產すべきもの七萬七千九百餘頭にして此の內屠殺斃死見込み數二萬五千六百頭を控除するも尙ほ五萬一千餘頭は道外に搬出又は道內增殖に家畜として農家の福利を增進し得べき數也とす

（十五）屠畜數消長

鮮牛の肉食狀況は內地に比し頗る旺盛にして牛豚犬鷄悉く食用に供せらるゝのみならず其內臟血液に至る迄剩す處なき狀況なるを以て經濟界の移動に伴ひ動もすれば屠殺數の消長に陷るの風あり例令ば大正三四年の頃牛皮價格の暴騰するや盛に行はれ其牛價格の騰貴するや凡て著しく屠殺數を減少し爲めに屠獸稅の收入に大缺陷を來したるの實例少からず過々昨年の早魃に際會して牛價の低落を見るや又々濫屠殺の傾向を示せるが如く畜牛の屠殺は年により變調を見るを以て一定し難きも凡そ既往七ケ年の實績に鑑みるに牛一萬四千乃至二萬八千頭豚五萬七千乃至十二萬頭の間にあるが如し

（十六）需要と供給

大正元年以來畜牛の輸移出數減少し或地方に於ては生產過剩の嫌さへ聞き延ゐて金融逼迫を告げたるが歐洲戰勃發以來軍需品として牛皮の需用激增し價格又暴騰の結果、市況は遽に活氣を呈し販賣屠殺相繼いで起りし爲め大正四年末に於て管內の畜牛頭數却つて若干の減少を見るに至れり爾來些も需用の減退を見ず之と共に農家經濟の消長と共に次第に殖り惜みの狀態を示し經ちにして舊態に復する事を得たり畜牛賣買も素より經濟界の變選により一弛一張ありと雖も少きは一箇年二萬餘頭、多きは三萬五千餘頭の間を往來するもの、如し然れども實賣頭數は管內に於ける重復轉賣をも加味するが故に果して其の幾何が道外移出なるやを審かにせず（完）

家蠶絲生產額

四千二百餘貫

平安南道に於ける大正八年度家蠶絲生產額は[illegible]組織に依るもの其他を合し左表の如くなるが之れを前年に比すれば製造者數四百八十六戶釜數一千五百七十七個生產額四百十七貫を減少し居れるが右は繭價の高騰を來したる結果蠶繭の儘販賣せしもの增加せしに依るものなりと

製造者數	釜數	生產高
九三四戶	一、〇二六個	四二一三貫

蠶業技術員會議　平安南道にては三日より六日迄三日間道內蠶業技術員を召集し會議を開催する筈

▼りん病ばい毒　完全なる自宅療法

患者の弱點に乘ずる山師的賣藥屋に瞞著せらるゝ勿れ

近頃藥室療法だとか熱氣療法だとか癥疾全治器の發明だとか言つて數十年の花柳病も忘れた頃に根治するなど嘘八百の效能書を叫き立て針小の効果より無き器械を棒大に吹聽し淋病は藥では絕對に根治しない抔非學理的の出鱈目を叫びつゝ其實は自家製造の賣藥や器械に添附して賣り附けるのを目的として居る老猾なる賣藥屋があるとの事である或は又、理學治療法だとか化學的療法だとか云ふて何か新發見の療法でもあるかの樣に吹聽するものもあるけれども之等は單に一種か二種の自家製造の賣藥や器械を巧妙に販賣せんとする老猾なる射利的手段に過ぎ無いので信を置くに足る物は殆ど無いと云ふて宜しいのである。そこで現今學上の花柳病治療法は如何に類別されてあるかと云ふに先づ癥毒では（一）切除療法（二）燒灼療法（三）燕蒸療法（四）塗擦療法（五）注射療法（六）內服療法等である。淋病では（一）注射療法本療法は尿道灌溉には無効也（二）尿道洗滌溫罨熱療法（三）眞空療法（四）ブージー療法（五）座藥挿入（六）藥浴法入（七）洗滌療法（八）內服療法等があるの外梅毒にも癥病にも尙ほ各種の治療法がある。夫から軟性下疳にも切除法加熱療法、腐蝕療法、燒灼療法等色々あるが之れ等は悉く即ち理學化學の療法の何れかに屬するものであつて彼の山師的賣藥屋連中が仰々しく理學療法とか化學療法とか云ふのも此の中の一部であつて、今更事新しく發見した療法でも何でもないので種を明かせば先づ此通りと申上たら讀者諸君は御合點の參る事と存じます。そこで理學的療法のみで癥病や梅毒が悉く治るものでもなければ化學的療法ばかりで凡ての花柳病性疾患を根治せしめ得るものでも決して〳〵無いのであつて各種の療法を綜合的に施して夫々患者の體質、病性、病期病狀等に基いて種々なる方法を應用しなければ到底萬全なる奏効を見る事は出來ないのである此處の消理を御考へになれば單に一種や二種の賣藥や器械で凡ての花柳病が治る筈のものでは無いと云ふ事も御分りになる事と思ひます、況して一藥萬能的の賣藥に於てをや彼の家傳梅毒卓効藥など銘打つて癥病も治れば僂麻質斯も根治するなど稱して而も一劑か二三劑で如何なる頑固の梅毒も全治するなど嘘八百の出鱈目を並べて得々たる者があるが之等は皆賣藥の藥效無きを自から白狀するものであつて實に噴飯の至りである吾人が正々堂々斯界に提供する學理的自宅療法なるものは[illegible]でも無ければ陳腐なる一家相傳の秘術秘藥でもない、又誇大的廣告手段によつて發行する山師的賣藥では勿論無い。方今世界の醫學上藥學上最も卓越せる効力ありと公認せられ日本藥局方即ち國家の法律を以て之が効力を明示せられある確實有効なる物のみを藥として製劑しある十有餘種のドラッグ商會製劑を以て淋疾療法、內服療法、外用療法其他自宅療法にあつて施し得る簡易確實なる即ち學理的化學的の各種療法を應用して醫療を受くる事の出來ない事情ある人々の爲に聊か貢獻せんとするのであるが變現限り無き多種多樣の疾病に對する凡ての治療法を限りある紙上に詳說し盡し得るものでも無し、又幾多の疾病の中には專門の智識と熟練せる技能を有する刀圭家の手を絕對に藉らなければならないものもありますなら患者諸君は自己の病狀を打ら明けて直接御相談に御來店下さい全治の秘訣を懇篤に敎へます

京城南大門外ドツラク商會滿鮮總本部
營業主任　千葉藥學士 陸軍藥劑官　正八位　鳥海諦二

京城黃金町ドツラク商會滿鮮監督部
營業主任　從七位勳六等　岡田宗次郎

請合藥　りん病　ばい毒
◎淋病藥主劑は治淋劑とし梅毒藥主劑は驅梅劑とし醫學上最高効と認定し醫科大學帝國大學病院長にて實驗認可せる著書等に前述の證言に接する[illegible]
分析料　百圓　進呈
◎あらゆる治療をすゝめても治らざる患者は兎に角一度服用試みあれ
にせ物あり　吉田　眼をお忍れ
京城南大門外停車場通　吉田ドラッグ滿鮮本部
京城黃金町三丁目電車通　吉田ドラッグ（長電話二八三番）
龍山練兵場前　釜山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤道廳正門斜向　仁川宮町二丁目　大邱弓町停車場前　鎭南浦警察署前　晉州大安洞榮町　大連岩代町
全國の都市に支店あり

京城各商組合の申合せにより當組合の休日を左の通りに相改め候
毎月第一日曜日　年始　紀元節　天長節　神武天皇祭　京城神社祭典日
三月一日　京城材木商組合

京鯨　各種着荷
東洋捕鯨株式會社特約店　鯨問屋　香月商店
京城明治町二ノ四八　電話一九五三番　振替京城四八四六番
特約販賣者の御方には特に勉强仕候

滿洲安東縣江岸通一丁目　安部油房製品一手販賣　京城支部取扱　日隆公司
電話日本三〇〇・二九三・貳九九　支部一貳〇二　電略（ヒ）　振替貯金口座京城四二六番
合資會社　安部油房　代表者　金井佐次

眼科 內科　京城壽町三丁目九十二番地（壽座隣り）　荻原醫院　眼科 內科　電話二二六七番　荻原長藏

春!!　旅行ニハ是非
□東京特製トランク
□弊店特製トランク
□柳行李 鞄
□二枚續毛布及ヒザ掛
□其他旅行用具各種
京城本町一丁目　高木鞄店　電話二五四番

金物商　京城本町三丁目　㊅　近藤安吉商店　電話一五六二番　振替京城三四七四番
湯利貯蓄に應じ可中相場表御一報次第送呈可仕候

資本金參百萬圓（明治三十八年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
株式會社漢城銀行　京城府南大門通一丁目十四番地
長 李[illegible]　專務取締役 韓[illegible]　支配人 [illegible]
支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山
出張所所在地　東京、東大門、平壤大和町、西大門

田中丸病院　京城西小門町一二番地　普通病室隔離病室の設備あり
院長 醫學士 田中丸治平　副院長 醫師 上野和夫
〔入院隨意〕　第一病棟用八八五番　第三病棟用二三番七八四

義手足　專門製作　脫肛痔をさへ器　脫腸バンド一式

高野義肢製作所　京城本町一丁目（見本郵呈す）

外科 產婦人科 耳鼻咽喉科　井水醫院　仁川本町三丁目（北島藥店前）　電話六七番　入院隨意　岡山醫學士 井水柳評

日本一　三ほまれ味噌
龍
日本醬油株式會社京城出張所　電話長二四五番

京城日報代理部

◉特別大寫眞（哀の曲）　都山流尺八 筑前琵琶 演奏
◉黃金館內容大改造と辯士の充實京城市（第一日曜公休日）慰安の爲特別料金を據出して國活會社の一大秘藏の特別大寫眞最も近來稀なる今や歐米諸國に輸出せんとする日本嚆矢のフイルム現代理想劇（哀の曲）は天才の美人川田貴美子孃女主人公として出演是を以て國活會社の權威及黃金館の努力を御認めあらん事を
◉三月六日より
階上金五十錢均一　階下金三十錢均一
◉軍人學生特に　階上金二十錢均一　階下金十錢均一
黃金館

しんからの身體を丈夫にする
滋養強壯劑
牛乳を飲むと同じ思で、永く本劑を服用すれば
効果は……眞に絕大

本劑は、精力增進、元氣振作の料として、老幼男女の別なく何人にも好適
定價　四日分 二十五錢・二十日分 二圓　九日分 一圓・卅一日分 三圓　到る所有名藥店にて販賣す
本舖　東京神田・大阪道修町　大木合名會社

◇小春日の街……

聖慮畏し

國民の勞苦を思召され 御煙草を御節約遊さる

常に七千萬人の上に大御心を注がせ給へる皇室に於かせられては物價騰貴に依り一般人民の生活難を思召され恐れ多くも近侍に對し一般國民の生活狀態を御下問あらせらるゝことは億兆の感激措く能はざる所なるが然も之を以て足れりとし給はず範を世に示し給はんとの大御心を以て御料御費の御節約を思ひ立たせられ昨秋以來宮内省より專賣局に對する御註文は減少したりと拜承するが同局に就き聞くに御料の御煙草は淀橋支局内に別に工場を設けて職員は沐浴齋戒の上之が調製に當つて居る種類は口附と葉卷の二種にて口附は鹿兒島水戸産の最良なるものを俗に云ふ一寸卷として獻納し葉卷は土耳古葉又は南米玖馬産の中形若くは大形を卷上げ鑵力鑵に納めて上納するのであるが此價格は百本百二十圓乃至百六十圓位のもので前者は時に依つて高低があるから價格は示し難いが大正七年度の上納高は兩者併せて四萬五千本此價格三萬三千であつたが八年度は二萬七千圓に減じた此御事は物價騰貴に依り人民の勞苦を思召されて御節約されたものと拜察して眞に感激の外はない』(東京)

透徹したる兒童の教育(五)

河野卓爾

もこより賞狀を與へる趣旨は、學業の奬勵にあることですが、此の人爲的な、形式を以て、最も向學心を、釣り出すことが、出來ませうか、いや、如此方法で釣り出した向學心は、眞物でせうか、申す迄もなく、何事にも方便手段が必要です。それ故教育事業の一切に、如此方法を排するのでは、ありませんが、教育の本質から申せば、學習は何處までも、自動自發的のものでなければなりません。だん〳〵前から申してゐる樣に、せしめられた行動には、生命の流動、創造がないのです。眞の

環境統制が 出來ないのです。そうして子供本來の性能は何等此の如く形式的な方便を用ゐずとも學習はする筈のものです。それが行かなくなるのは其方便そのものが誤つたので即ち此の賞狀等を與へて奬勵した結果がだん〳〵子供本來の純なる學習本能を誤つたのであります。そして此の優等はどうして極めるのでせう。甲の子供より乙の子供が點數何點多いとか少いとか此は何を標準として定めるのでせう。尚一歩進むれば

其の何點と いふ點數は一體何でせう。子供は活てます子供其ものは間斷なき生命の流動ですそれを死んだ機械として扱ふのです、此處に、大なる誤りがあるではありませんか。そうして一歩を讓つて機械として扱ふとしても、今日の成績考査法は、その性能全部の査定が出來ない事になつてゐます。出來る部分は知的方面の、併もごく僅な部分にすぎません。之で

性能全部の 評價をするのですそれに、一般何人又は一學年何割等と及落等をきめるに至つては實に滑稽の沙汰ではありませんか……まあ大體に於て賞搜しの樣な傾向を有してゐるのです。然しかう申したからとて前にも申してある樣に私は教育上賞といふ方便が全然必要でないと申すのではないのでいや却つて必要があると認めてゐるのです只た今日の樣な形式に捉らはれた賞は必要がない

寧ろ有害で あると申すのです賞本來の性質は『よい事をしたからほめてやる』と云ふ事であらうが、事實は『ほめられるから、善い事をする』といふ形になつてゐます。尚一歩下がると『賞品を得んがために善い事をする』といふ風になるのです然して、私は方便としては名譽心を顧つてやる事も、必要であると、思いますし、又時によつては、賞品をかけて、善い事を勸めることも、必要であると信じてゐます。只何處迄も

名譽や物質 をかけてやることは、第二義の權威として、扱ひたいのです。換言すれば賞は第一義として行ひたい。結併もそれは、意味に於ても、結果に於ても、そうなる樣に、行ひたいのです。そうするには、どうしても今日の樣な、一定の時間に、一定の形式を以て、行ふことが、間違つてゐると、信ずるのです此等は、先づ此の改造の期に於て第一に、改めたいと、思ひます。次に皆勤賞です。これは、出席奬勵の方便として、用ゐてゐるのですが、かうして、出席した結果は

何程の效果 を齎すでせう。教育の本質から見ると。全く同樣の事ですから改めて論究の必要はありますまい。特に教育問題を離れて衞生問題として考へて見ませうか、學年末一枚の皆勤賞を得るために、異常な身體をおして、出席したお子樣はありますまいか。之が原因となつて大病を惹起した例はありますまいか。近程のやうに流行性感冒の流行の時等は、隨分御家庭でお困りの事もあつたと、存じます。

銀貨

藏ひ込んだ 五十錢紙幣 無期限發行

近來著しい銀價の昂騰を見た銀塊相場は一高一低であるがまだ〳〵大變な高値である然に支那では日貨が高くなつてゐるので買占めやら隱匿やらが盛んに行はれてゐる右に就き日本銀行國庫局では曰く『銀塊相場がやがて九十片になり

一躍百片に でもなつたらそれこそ大變だが今の處然うな事はあるまいと思はれる今日流通しつゝある銀貨は殆んど何れも倍額を持つてゐる始末なので政府では昨年四月以來鑄造の新銀貨約二千萬圓を日本銀行に秘めて市場へ出さない事にし其れに代ふるに小額紙幣を發行したのである議會に提案した穴あき十錢白銅貨鑄造の件は解散結果となつた

當分お流れ になつたその結果來る四月を以て發行切りの五十錢紙幣を今後無期限に行せざるを得ないことになつたそんな譯故政府として假令銀貨が現價の倍額になつてるとても之れを回收するやうなことは決してしない唯問題なのは當銀行にある新鑄の二千萬圓の銀貨の處置であるがこれは要するに銀塊相場が落付いた上でなければ決まらない其以前に發行すれば例の

鑄潰しに會 ふのは判り切つた話である現に支那では日本銀貨は非常な勢ひで騰貴し一圓が三圓位まではならうとしてゐるさうだから新鑄銀貨は迚も發行されない或は銀塊相場が尚今日のやうであるならば此の二千萬圓の新銀貨は政府の手で鑄潰されて又改めて新に銀貨になつて現はれるかと思ふ

釜山は靜穩

唯米國人經營の女學校裏手の大木に獨立の大旗を掲ぐ

三月一日は萬歳騷ぎの一週年に際し特に釜山警察署にては萬一を慮測し三月一日二日の兩日は殊に夫れ〳〵釜山鎭草梁の方面を始として警戒を加へ嚴重なする所ありしが僅に釜山鎭米國宣教師經營の女學校裏の大木に韓國獨立の大旗を掲げたる者あるを發見し之が取除けをなし一層警戒を加へたるが各方面共平穩無事なりき(釜山)

白紙に實印を押捺させて詐欺を働く

府内敦義洞一五五尹圭東方藥種仲介業李洪圭(三)は一月下旬友人なる橋南洞八八崔聖雲に對し南大門通四の五七物産客主某島雲起が使用せる實印を白紙に押捺し呉れと依頼し島が押捺交附……

家庭と社會

炊事の改造

臺所の仕事は婦人專門と思ふかは間違ひ

臺所の仕事は、從來婦人專用の職務の如くに思はれて居たが今日では男子も之を分擔して何時も必要に應じて

炊事ぐらゐ は出來得るやう訓練されて居なければ困る。生活改善の如き大問題は別として實際の生活上、男が滿足に飯も炊けば菜も煮られぬやうでは、一寸した事のあつたときでも直ぐに差支を生ずる、或る老博士は早朝外出するので女中を煩はすに忍びず

自身早起し て炊事を取つたさうだが終に一種の保温器を工夫し、前夜に準備して置くやうにしたと云ふ事である。されば炊事の訓練は子供の時から稽古させて置くことが必要であつて女の子は申す迄もなく、男の子にも矢張之にたづさはらせるやうにしたい

某氏の家庭 では此の主義を實行して居たので主婦が女中を連れて一泊ぐらゐしても留守の子供達は相應に食ごしらへをなし之に就ては少し差支を生じた事がないと云ふ、又小僧二人に主人の三人暮しの或る商店では小僧が交代に飯炊きをして菜までも手際よく調理し遂には五目飯や燒飯の

御馳走まで も出來るやうになつたと云ふ話も聞いたが、臺所の事は女の手一つに委せずに、子供の時から機會を自ては之を稽古させて置くことが各々の生活上に大切な事と思ふ

寄贈芳名

本社募集の慰問袋(到着順)

◇現金の部◇

一圓 釜山南濱町二丁目一乃家 今村スエ
五圓 釜山琴平町江戸家 井上恭輔
五圓 同南濱町二 朝日 坂井田イワ
十圓 同南濱町二芳千閣 相原榮次郎
十圓 同南濱町二待合亭 山本宗一
同 同 藤田タミ
同 同 岡本タヨ
同 同 追山カヨ
同 同 高橋スギ
同 同 高北良千代
同 同 片山春
二圓 釜山琴平町一 山縣 鍵本瀨吉
二圓 釜山商業會議所前 九重 河合楢藏
一圓 釜山西町一 天金 遠藤楢太郎
三圓 釜山大廳町喜久矢 西尾菊太郎
一圓 同 喜久矢内 村田キミ
一圓 同 同 小宮山ミサチ
一圓 釜山大廳町開花 石川源三郎
一圓 同 開花内 濱田幸
一圓 同 開花内 辻カツ
五圓 釜山大廳町初勢 友岡清根
一圓 同 初勢内 山口キヨ
一圓 同 初勢内 佐々木フミ
一圓 同 初勢内 小島イク
三圓 釜山辨天町二守谷 守谷長次
五圓 釜山南濱町大黒 大黒トク
一圓 同 大黒内 丸山シズ
一圓 同 大黒内五十嵐ツルヨ
一圓 同 大黒内神原イチコ
十圓 釜山南濱町一福樓 吉本タケ
一圓 同 一福樓内 青山アイ
一圓 同 一福樓内 上田ユキ
一圓 同 一福樓内 稻垣タケ
三圓 釜山南濱町二弘勝 弘中勝藏
三圓 釜山南濱町小倉廼 小倉貞八
一圓 同南濱町芳千閣内 安藤リウ
一圓 同 芳千閣内 溝添アイ
一圓 同 芳千閣内 渡邊タミ
一圓 同 芳千閣内 下村ミヨ
一圓 同 芳千閣内 甲斐サカエ
一圓 同 芳千閣内 高橋遊
五圓 釜山南濱町智戸勢 越智マス
一圓 同 智戸勢内 雜賀常吉
一圓 同 智戸勢内 一の瀨サツ
一圓 同 智戸勢内 三浦幸
一圓 釜山南濱町常盤亭 山根サダ
一圓 同 常盤亭内 大山榮

義太夫東西

▲三日太平記の中に『はつと答へて下兜』といふ文句があるが是れは『德者』の誤だらうとの説がある、古い稽古本には『したかぶと』ともあるが是れは『か』の濁點が『ふ』に附け誤つたので近版の稽古本が『兜』を當てたのだらう▲太功記の『浮へる雲』は『浮べる』と讀む方がよからう▲阿漕の段切の『よみに讀む字を』受けて『冥土へ』と語る方よろし▲堀川の『猿兵衞が強』は大概の師匠は『猿兵衞が強』と教へるやうだが矢張り『猿兵衞』と語るべし▲この堀川の猿廻しの性格に就て如雲氏曰く『其の頃には稀らしい新調な人だ』と▲堀川の……といふ語り物は聽いて面白いが是は甚だ其道々しいと思ふ(鬼十)

夜の蜘蛛 (二一六)

江見水蔭 作 近藤紫雲 畫

『能く救ひ出して呉れてね。純に美し助かつたわ』と先づ謝子は禮を述べた。

『どッこい、未だ禮を云ふには早いよ。君を救ふにしても條件附だといふ事を斷つたらう』と少年は云つた。

『ね、……』

『その條件を確實に守るといふ誓ひを立てなくッちやァ厭だ』

『誓?』

『その誓を立てるのが厭なら、此儘此處の屋根裏に監禁して了ふのだ』

『ヒッ監禁?』

『つまり、あの二階の一室へ封じ込められたのを、今度は屋根裏へ移轉さしたといふだけで。今夜虎に咬はれる處を、狼の餌食に變たといふだけの事さ』

『それでは柔順に誓ひを立てた時には……此處から他へ逃げさして呉れるんですか』

『それが條件附きでね』

『どんな條件なんですか』

『其條件を語る前に、先づ僕の身分から名乘つて掛らなければ成らないんだ』

『まアお前さんは、何んと云ふ名なのですか』

『眞面目の名前なんか無い。イの一號で通つてる。最一ッは南極小僧とも云ふのでね。バチルス團の首領なんだ』

『バチルス團?』

『不良少年の秘密結社さ』

『ぢやア矢張然うだつたのね。いつかカフエーの三階で喧嘩をして、其ドサクサ紛れに喰逃げをした……』

『や、それぱかりぢやァ無い。三宅坂で君を包圍して、皆んなで空地へ擔ぎ込まふとした仲間なんだ』

『あッ、あの時の……』

『此處から近い井の頭に東京府の感化院が有るのを知つてるだらう。我々は大概其處から脱走して淺草公園を主に荒らしてゐるんだが、此頃些と危なく成つたので、氣を抜きに郊外へ散つてるんだ。此處も其隱れ家の一ツなんだが、未だ他にも仲間の隱れ家が有るんで……條件は其處なんだ。此處で君を助けて、無事に家へ歸らして了つたのでは、僕が詰ら無いや。折角骨を折つたのが、何んにも成らないんだ。今夜君を載せた自動車が空別莊の構内に入つたのを、偶然立木の蔭から見てね、それから二階へ引上げたのを突留めて大急ぎで別口から大井澤へ……け出したのだが、其親切に對する報酬として、提出する條件は當分我々の巣窟にゐて、種々世話をして貰ひたいんで……』

『世話をするッて?』

『如何しても男では出來難い事がある。女でなければ困る事が澤山有る。それを君の手でして貰ひたいので……第一が食物の心配。料理なぞだね。それから針仕事や洗濯物、それを遣つて貰ひたいんだ』

『それだけの用事ですか。他に……他に……厭な事を强ひるのでは無くッて?』

『それは既う斷念した。といふのは、君はカルメン小糸の妹なんだらう』

『然うですわ。妾の姉さんの從子は、カルメン小糸と云つたさうで、近頃知つてよ』

『そのカルメン小糸には、一寸頭の上がらない僕なんだから、君の貞操は尊重する。決して惡い事は仕や仕ない』

『では、妾、助けられた恩返しに出來るだけ世話をしますわ』

『好し。話の分りが早い。此上は誓ひだ。誓ひを立て貰はう。承諾と見せて、逃げられても困るから……』

『その誓ひの方法は?』

『それは實に奇怪極まるんだよ』

卓上漫語(下)

廣田生

□近間氏。

窪みこの原中にふりそゝぐ小雨の音のかそかなるかな(五點)

◆諸君の採點の態度を嫌らなく思つてゐた私はこの歌が五點も這入つて居るのを見て最早言ふべき何物をも持たぬ。用語の不用意といひ觀察の不徹底といひ一體どこがいいのか私はとんとその了解に苦しむ。作者並に此の歌を選ばれた諸君の再考をのぞむ

□具谷氏。

日輪はどんより赤くにじみつゝはれ釣瓶動く朝靄の中に(二點)

◆この歌にたつた二點しか這入つてゐないことを私は不滿に思ふ。諸君がどうしてこの歌を採つてくれなかつたのか私は不滿に堪へられない。勿論この作とても多少の非難は免れないとしたところが、尠くとも當日のあの淺薄な多くの詠草中確かに光つてゐたことは拒まれない事實である。而も採點の結果はこの事實を容易に裏切り私の豫想を惜しげもなく破壞した。私はこの一首によつて諸君が歌に就いて持つ感念と私のそれとが大分距つてゐることを知り、同時に諸君の氣まぐれな態度に少からず失望した。

◆作者の自然に對する敬虔なる態度はこの歌に於てよく現はれる。この作の背後に迫つてゐる作者の人格の力は表現の單純さと卒直さによつて充分生かされてゐると思ふ。あるがものをあるがまゝに何等の浮誇も何等の衒氣もなく對象そのものへ沒入してゆく作者の態度は確かに敬服に値する。强ひて慾を言へば第二句をもう少し何とかして欲しかつたが、これは枝葉のことであつてこの作を傷つけるには猶多くの餘裕がある。

□青木氏。

冬の陽の光あまれき空のもとしみ〳〵あれどこゝろなごます(三點)

◆類型的な歌である。これぞといふほどの缺點もないがさりとて佳い節も見當らぬ。强いて君にのみ云ふのではないが一般に王朝の燃燒といふことを忘れてゐるのはどうした譯か。もつとよく事象を見詰めて、思ひを內部にひそめて頂きたい。妄言多謝=二、二七=

耳目 寳傳○世はぴんからきりまで○醫者役者易者ぴんからきりまで……見料隨意…… 永樂町一丁目 均陵庵

日報俳壇

三寒から四温へ(下)

披柳(鷲巣社)

樣の福壽草に陽うすれ隣室客なし

公州 寄

夜の街をありく

褪猫の裾すり逃ぐる街中

ナマ肉の匂ふ戸口でブッキラボウだ

自分獨りの足音を聞きと戻る橫卷

宿の夜のひとり

ゆたんぽを抱へればだぶ〳〵湯がゆれるかな

ゆたんぽの湯のゆれていつ明くる夜ぞ

ゆたんぽの湯のゆれる音はなつかしきかな

蒲團の襟のわが呼吸のなめらかさかな

あくる朝

火鉢の湯のたぎり凍霜の雀ら

また自動車にのる

殘雪の坂道を曲り村がズッと下に見れて來た

自動車の乘心地の裏切られたといふ女だ

夕方大田警かへる

マントに手を入れて家苞とてはなく 二、一三

產婦人科 京城旭町電二二〇一 醫學士 二宮醫院 二宮鄕吉

詩壇

生ける日のなやみ

孤逝(黄州)

詐りね、口なきはめて

嗚呼、されど―

悔き悔恨は

淋しみを刻む。

○

涙―

一人孤寂の中に

病みし身をよこたへし時

過ぎし日の思ひ出

大地と人間

立花杜路(京城)

地上は淋しだ

空は眞空だ―

恒久の春の潮は私の腦髓まで浸し―

血のみなぎる雙腕を組んで草場に坐つて徂徠する雲を眺める

地は永遠― 風は自由

太陽は赫灼として空にある

おゝ! これら一切の大きな力に對して― 私は双手を空に高く差し上げて、聲を限りに叫び吼ふ

抒情詩人よ!

暗い家の中で六絃琴を掻きならし、泣く事をやめて曠野にいでよ

さうして神から與へられた尊い自らの聲で歌をうたへ、

其の時眞實に私達人間の發すべき事の如何に大なるかを知り得やう

朝の霧

久禮夜詩緒(京城)

霧、霧、乳の霧

ねぼけまなこの赤い灯は

霧のなかでしかめづら

ひよこつ〳〵やつてくる

西洋人がふる杖は

前にうしろに霧なきる

鯛ちり ふせ鍋 權平庵 京城本町五丁目 電話貮貮參七 今般第一種料理店として認可相成候間一層勉勵調理仕候

新刊紹介

▲儒學年表(完) 今關天彭氏著 著者は儒學界に於ける新進氣鋭の士にして其の造詣の深さは從來碩學の著作見るを本書は宋元明清の歷史其他を涉獵し儒學の變遷發達に關するもの及び學者の著述等を年月を逐つて摘載したるものにして四代に於ける沿革を見るに最も便なり儒學研究に志あるもの一本を座右に備ふるの必要あるべし

▲我等(三月號) 農奴解放(如是閑)『我等』の一週年と思想の自由(社說)言論自由と國家の干渉(吉野作造)文化運動としての排日及親鮮(三宅雪嶺)思想の積極的解放(清水安三)雜俎一束(有島武郎)二人の波瀾の女(大庭柯公)其他大家の創作を掲ぐ、思想自由說と銘打つてある(六十五錢東京神田錦町共社)

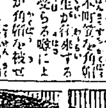
▲薔薇之友(三の一) 此の內憤を如何せん(社說)中織と旭川(長瀨鳳輔)岡山縣人論(柴田久越)山陽と愛々堂(目賀田六齋)の外薔薇時評、人事雜報、薔薇人名錄は共に岡山縣人の爲に編纂されたもの(二十五錢東京麹町區富士見町六共社)

▲巢框から巢脾になるまで(吉田藤三氏著) 養蜂に相當の技術と機械とを要するは云ふまでもない本書は即ち養蜂家の最重要な財產の一たる生產機械(巢框、巢脾)に對する智識を普及し蜜を殖さんとする努力に成つたので小冊子ながらよく其の一般を盡してあり且つ廉くて便利なのが何よりである(十三錢名古屋市東區內日本養蜂雜誌社)

▲大陸(三月號) 好景氣と不景氣(畑壹)は現時財界の好調より來るべき逆調に對する剴切なる警戒と用意を說へたるもの朝市經營と公益事業(宍崎)世界の現勢と日華聯盟(坂內中將)支那地方制(民國內務部)西伯利經濟事情(社內調査部)文化の吸收の調和(杉浦重剛)朝鮮民族と日本(澤柳博士)其他多方面に亙り必要な記事を收む(四十錢大連市淡路町共社)

▲朝鮮農會報(一月號) 朝鮮で農林業又は農林產物の取引する者に依つて組織された朝鮮農會の機關誌(二十錢京城道水原共社)

▲法治國(二月號) 文化と我の自覺(佐藤碧水)法治時評(坂直雄)皮肉な死刑廢止(追分町人)其他(十五錢東京京橋區新肴町東京法律事務所)



▲此處の語學は……さ聞いて呆てゐた近頃不可笑な角帽姿の學生が往來するのが見受らる噂によると工專も四月から角帽被せる樣に決定したそうですね工專の角帽は天下一品です(本町の雁頭)▲淋病治療器御ゆづり度候電話二五九五方へかけて大塚を呼び出して住所を御教下され度候(依頼生)▲東株五百圓突破高値八百圓を豫想されて今日當地現取の騰がれるのも無理はないが取引所株も段々あるので現に資本金千萬圓の大阪現取の如き十五圓以上の權利付で公募を發表しマダ拂込も付かぬのに十三圓五十錢で現物屋で賣出して居る始末然し京城現取はそんなものではない有望は有望だが然し大いに有望かね?朝鮮唯一の公認取引所であり何れは定期取引も許されるだらう然し權利四五十圓買は聽くはないかね仁取などと比較して居る向もあらうがとても問題にならぬ殷盛不適東亞新などの例もあるからあまり夢中になつて通信社で向つ面を喰はん用心が肝要(因牛生)▲近來汚物人夫來らず此暖氣で金外部にはみ出し何とも甘ばれぬ香氣を發し何とも始末が付かぬ何れへ訴求したら可なるや此欄にて御教示を乞ふ(光化門通生)

連絡船上陸客

長吉、辻無門、桑野芳吉、吉本三武一、外人七名 三等(四八四名)

次郎、七條喜多子、黒岩圓治、同〇四日夜入港對馬丸 二等船客 ……

……一等(四名)中道龍夫、林誠美、林…… 三等(二二八名)

……同隆久、堀秀馬、永井鼎…… 增雄、江部總太郎、同まさ、……川大兵衛、同太一郎、梅津たき、……

……入江文造は去る二十五日午後四時頃龍州郡と龍川郡この所持ならんと云へり……

龍川郡を荒し廻りたる強盜の……

書き置き 僕の手紙を……

女一代の衞生(美本一册) 増田博士及佐……博士、北島、三醫學士共著 何人にも無代にて進呈 東京京橋新榮町四丁目 笹岡省三藥房 振替東京五〇五〇番 電京二二〇一番 ◎爲國有名藥店にて販賣 加減命の母藥價は二割増本舖へ皆御注文あれ

母の命

キッと効く (五大博士審驗證明) 高級婦人藥

[illegible]一圓[illegible]田中米町、白上[illegible]山口太兵衛、服部保一、大内要、内藤七郎、同淑子、坂本貞彦、見田根太、二一寮（四二名）中村宏治郎、十滑又三、岡田博市、田中[illegible]田道太郎、山本彦太郎、百隅一、上田桐三郎、木村榮三郎、若林廣吉、白石象三、肥田虎雄、同たみ、北川高次郎、同ゆき、山幸庄太郎、同もと、同美子、鈴木富一、福田[illegible]きみ、大村猿三郎、上野[illegible]同富美、堀武雄、松本正造、波多野政太郎、荒木省巳、中島貫三、森隆吉、櫻谷與三郎、張洛春、朴佑東、張獄相、村上林藏、高木背人、我かん、佐藤みます、笹生の

怪しき兇器
石工が發見す

新義州常盤町六丁目村上泰造雇附近に於て石材採取中其の附近にて裝填せる拳銃三挺實彈大發洋刀一挺を發見し其の筋へ屆出來義州でたるが其の兇器は舊冬

飛行機の進步

（上圖）は英國ゴライス式飛行機の裝を盡した室內、優に二十名を收容する事が出來る（下圖）は英國ブリストル三葉飛行機の同じく室內、操縦者助手の外に十五名乘れると云ふ、斯した航空旅行の出來る飛行機の進步驚くべしである

東宮殿下九州御巡遊
神戸より軍艦にて
鹿兒島へ御上陸
大分縣御見學は御見合せ

東宮殿下には愈々本月下旬東京御出發約二週間の御豫定にて九州に行啓あらせらるゝに就き

戸田東宮主事 は下檢分の爲め三日午前八時卅分東京驛發西下したるが同主事調査の上歸京復命し詳細の御日取等發表せらるべきが殿下には先づ東京御出發神戸より軍艦に召させられ

鹿兒島御上陸 鹿兒島となるべし宮崎、熊本、長崎、佐賀、福岡の六縣下に亘り香椎宮、宗像神社、筥崎宮、霧島神宮、阿蘇神社、宮崎神宮、宇戸神宮其の他重なる神社に御參拜師團、學校名所舊蹟御覽あり尚ほ産業御獎勵の思召を以てなる地にも御立寄あり鹿兒島にては島津公の磯別邸を

御旅館として 御選定の議ありしも御思召に依り藩邸又は土地の富豪等の邸には御泊り遊ばされず特に記念館又は學校公會堂等を御選定遊ばさるゝ趣きなり尚ほ大分縣下にては今秋陸軍大演習行はるゝを以て其の際行啓あらせらるべく

今回の行啓は 御見合せられ（東京電報）

淳宮御床拂

流行性感冒にて御靜養中なりし第二皇子淳宮殿下には此程御全快あらせられたるを以て四日午前十時皇子御殿に於て御床拂ひを行はせられたり（東京電報）

京城の上空で
宙返りの放れ技
成し得れば實行すると
五日入城の森飛行中尉　眉を昂げて語る

所澤京城間大飛行準備の爲め五日朝入城せる森飛行中尉は軍司令部樓上に於て語りて曰く『今回の飛行は伊國飛行とは全然關係がない。

所澤出發は 八九十の三日の中天候を見て飛翔する筈で天候さへ良ければ豫定の通り九日に著するであらう、今回使用の飛行機はツッピースとサルムソンの二種にて何れも全部所澤製であるが製作に關しては十分の研究と注意とを拂つてあるツッピース二機には寺元中尉和田中尉が何れも操縦し

京城に著く と今度は難波中尉加藤少尉と交代復航する筈であり又サルムソン二機には坂口大尉、阿部中尉操縦京城著の上田中中尉、北川中尉と交代して復航する筈である猶ソッピースの三型を京城に持つて來て、成し得れば京城の上空を飛翔し宙返りの放れ技を見せたいと思つてゐる

豫定の通り 飛翔して來れば陸軍記念日の當日、諸兵連合演戲の上空を飛ぶやうになるかも知れぬ、又飛行機は數回の耐寒飛行の經驗に依り保温の設備とタンクの改造も行つてあるから、十時間や十二時間は大丈夫飛べる、假令冴返つて氣温がめつきり下がるやうな事があつても

少しも憂ふ る處はない、自分は京城著陸準備委員として來たが朝鮮內の總司揮官は彼の雄飛號で有名な徳田工兵中佐である。京城には一週間程滯在する筈であるが其の中に伊太利飛行機が愈々勢揃ひして飛んで來ると云ふ確報が屆けば夫れ迄待ち合せ一緒に飛んで歸る積りであるが

伊國飛行機 は多分今月末になるであらう。

操縦將校は孰れも
航空隊の花形
往航復航の飛行將校決定
陸軍最初の宙返飛行家　和田中尉も加はる

所澤京城間大飛行往航操縦者はソ式和田寺元兩中尉サ式阿部田中兩中尉にて復航はソ式難波中尉加藤少尉サ式北川中尉阪口大尉と決定したり復航操縦者は八日所澤發し京城に向ふ可し、今回の壯擧に參加せる飛行將校は孰れも陸軍

航空隊の花形 にして阿部北川田中三中尉は現に航空學校の教官にして技術優秀なり阪口大尉は西伯利に出征せる人及び小關少尉は先年出征中青島戰に參加せる經驗あり寺元中尉は航空第一聯隊難波中尉は同第二大隊附武官にて佛國飛行團の教導を受け高等飛行術を修得せる人なり又加藤少尉は遣伊飛行團に參加せる人和田中尉は陸軍最初の宙返飛行を爲せる青年將校なり（東京特電）

準備委員

所澤京城大飛行準備委員長は徳田中佐に確定し同氏は大邱著陸場視察の後六日頃來城すべく五日朝入城の森中尉も京城を據點とする事となり大邱準備委員には青島戰にて勇名を轟ろかしたる坂本大尉及び先頃來滯城中なる喜早中尉擔任する事に確定せり

森飛行中尉

五日朝入城の森飛行中尉は五日午後一時より總督府に於て各方

[…]出委員と會見飛行機來朝に就き種々打合す處ありたり

遊廓でピストル自殺
＝原因は負債か＝

左肺部を 擊ち自殺を圖りたるが死に切れず苦悶中この物音に驚き樓主を初め娼妓仲居等馳け付け其筋に急報したるを

人は昨年秋內地より渡鮮し平壤に入り來りたるに

思はしき 就職先なきより一時中平組に寄寓し居たるも去る二日午前十一時頃撫順に赴くとて同家を立出でたるまゝ何の音信もなかりしが四日朝に至り前記遊廓より[…]心を云ふものならんと其の儘受けとり置きたるに間もなく自殺せりとの急報に接したるものにて多分負債を苦にして自殺を圖

邦人二名を
殺した
犯人は六名

昨年夏奉天省寬甸縣に於て岐阜縣人小川福藏、槻三次郎の兩人を殺害したる犯人は支那官憲に於て極力搜査中なりしが最近に至り不逞鮮人の一團を其の嫌疑者として逮捕し居れる由其人數は六名の由にて不日日本官憲に引渡すべく且數個月の懸案として日本官憲を惱ましたる屍體引渡し問題も該犯人と判明せば自然解決するに至るべしと（安東電報）

過激派の魔手
二邦人を逮捕し
二十萬圓の物資も掠奪

北樺太ギシカに於て日本毛皮株式會社出張所員伊藤義雄（二五）菊池熊四郎（二八）の兩氏は軍事探偵の嫌疑の下に過激派の手に逮捕せられ且つ二十餘萬圓の物資は全部掠奪せられたる旨ペトロパウロスクに電報なりしが市駐在帝國領事は目下露國官憲に交渉中なりと（東京電報）

不穩の行動を現した
學生も檢擧され
警務當局の取調べ續行

京城府內の公私學校中三月一日二日に稍不穩の狀況を現はした二學校があつて培花培材二校に對して五日道知事より校長認可取消を命令されたのは既報の通りであるが當該學校學生に對しては警察當局に於いては著々嚴重なる取調を續けつゝあり其事情に依つては檢學告發せらるべく私立培材高等普通學校學生中には既に檢學收監中の者もある相であるが又新明普通學校でも三月一日朝二三兒童が不穩らしい形勢を見せたが此は全く煽動の結果らしく當該學校當事者も嚴重に其事情を取調中であり其筋でも夫々調査中であるとか

首の飛んだ
兩學校
培材と培化

校長の認可取消しを命ぜられた培材學堂を五日訪問すると校內は全く森閑として人一人ゐない模樣であつたが校庭に野球をやつてゐる一學生に聞けば今日は休みであるが來週月曜から開校される筈であると云ふ更に培花女學校を訪ふと茲は相變らず授業を續けてゐるが校長は命令を受けて五日は登校せぬらしいが樣子は判明しない同校學生中で目下拘束中の者は六名あるとか

培材校長
道知事の命令を斥けた
强辯憎むべし

培花培材兩學校長の就職取消に就ては須藤京畿道第一部長の談は既揭の如くなるが培材學堂及び私立培材高等普通學校に於ける三月一日の不穩行動に對し道に於ては是亦田中學務課長視學官の立會を求め小生實地に臨み事實の調査を爲したるに學校長は事前に於ては道知事訓示の趣旨により夫れ〴〵處置せる形跡を認むることを得るも事件發生後に於て校規及び學則の勵行に對する誠意の認むべきものなく或は事態を目して全然

政治問題に して訓育の問題にあらずとなし或は生徒に對し處分をなすは基督教の敎義に背反するものなりと主張して學則の勵行を拒否し遂には假令學校長の職を退くことも道知事命令によりて善後の措置を講ずることは絶對に欲する處にあらずと强辯するに至れりよつて按ずるに學校長は監督官廳の

命令に違反 し學則の徹底勵行するの意示なく訓育の徹底に努めて生徒の心情を善導せんとする誠意なきものと斷ずるの外なく本校の如き多數青年學生の教育に任ずべき學校長として適當なりと認むること能はず仍つて大正九年三月府令第二十一號私立學校規則第十四條に依り其就職認可を取消されたるもの

箱入娘の鮮鐵
滿鐵では色氣があつても
總督府は嫁に遣らぬと云ふ
大內京管局經理課長の談
滿鐵增資も議會解散で困ると

鮮鐵併合並に滿鐵增資の要件を帶びて上京中であつた京管局大內經理課長は四日夜歸城五日朝往訪の記者に對し左の通り語る

鮮鐵併合に 關しては種々の取沙汰があるが何しろ滿鐵の方で色氣はあつても總督府の方では嫁に遣るのは可厭ぢやと御意遊ばすのだから手の出しやうがないぢやありませんか、滿鐵增資も議會が解散されたので未だ全く眼鼻がつきません、總ては

臨時議會が 開かれる迄は決定しますまい、御社の東京電報にあつた增資方法の內定ですね往年滿鐵が倫敦市場で募集せる社債一億三千萬圓を政府に於て立替へ償還し之を出資として增資すると云ふのも一の案には相違ないのですが、私は未だ決定して居らぬと信じます

臨時議會開會迄如何なる應急策を取 るかも決定して居らぬ位です、まア原首相にでも聞けば確かな所は分りませうがねと巧に外し『何しろ議會の解散は寢耳に水でしたね野田遞相の息徴作君と同じ宿に泊つてゐましたが同君さへ全く知らなかつたやうで其夕暮顏色を變へて私の室に飛込み『オイ大變だ議會が解散になつた』と云ふのです、

普選案の優 に二十票の差で否決される運命が明かに分つてゐたのに解散と云ふ筈はないと云ふといや確かに解散になつた今林鐵東長官が自動車で滿鐵支社に立寄りさう云つて歸つたから確かだと云ふのです、半信半疑でゐましたが外出すると間もなく號外が出たので始めて嘘でないと知つた位です、

內地は人心 が益々險惡になつて來ました。勞働者の鼻息の荒い事は凄じいものです東京電車の怠業は實に巧妙な手段でやつつけましたよ。電車の重要な部分に態と故障を作り修繕車の札を掲げて車庫に引揚げるのです、車庫には修繕職工が居りますが頻りに修繕車が引揚げて來るので手のつけやうがなく車掌や運轉手は

それを好い 事にして代りの電車がないと云つては歸宅するのです、丁度雨の激しい日でしたが停留場と云ふ停留場は其塵事とは知らず電車を待合せてゐる人で全く人の海と化しましたよ。八幡製鐵所も歸途ちよいと覗いて來ましたが、此方の罷業は著く

暴動的色彩 が濃厚のやうでした、四年五年勤續の職工には罷業の意志はありませんでしたが入所一年になるかならない不良職工——而も十八九から二十四五の青年が主になつて煽動した形跡があります、それも大勢の前で演說がしたかつたから贊成したと云ふ稚氣を帶びたものもありました、同じなら最初に斷乎たる處置を執れば可かつたと思ひます。云々

看守の自殺
放蕩の結果か

公州監獄看守谷山誠夷太（三〇）は四日午後一時牛頭龍山桃山遊廓附近の墓地に於てピストルを咽喉部に當て自殺せんとしたるも急所を外れ苦悶中を折柄巡行の巡査に發見され應急手當を施したる上元町一丁目慈濟病院に收容したるが自殺の原因は多分放蕩の結果なるべく目下取調中

黃金町夫婦
殺し犯人
檢事局に送らる

黃金町の殺人事件被告徐世景は四日京城地方法院檢事局に送られたるが檢事局では玉名檢事が取調べつゝあるとか聞く所に依ると慘殺兇行の犯人は自白に徵して金世景らしく檢事廷の取調を了り次第豫審に廻る筈である

行方も知らぬ
漂浪の民よ
浦鹽脫出の露國避難民
四日元山へ上陸す
人世の悲哀を集めた落人の群
前皇帝近侍の一行もあり

虎口の浦鹽を脫出し來れる一行二百九十二名を搭載せる萬世丸は靜かなる曉の元山港に滑るが如く入港して

運輸部沖に 投錨せり一行は概ねロザノフ將軍麾下の將校家族にして探偵局長たりしロートキン少將以下佐官尉官等なるが中にはカメンスキーと云へる天文學者も搭乘し居れり艀船の入港と共に上陸せるは將校家族の一行二百八十二名にて彼等は何處に向ふ可きか其往く所さへ極まらざるもの、如く取敢へず元山に上陸

篤と思案す 可しと語れる者さへありと云ふ遽ひ可きは亡國の民なり一行と放れ浦鹽にて更に門司迄向ふ可き一行十名あり團長はトルストイ、ミカイロフスキー氏にて彼れはエカテリンブルグに慘殺されたる前露國皇帝に近侍せし者にて何れも辛うじて虎口を脫せる者のみにて悉く

皇帝近侍の 侍從侍從のみなり一行は門司に上陸し一先づ東京に落着きロザノフ將軍等と會見の上帝政復活運動の圖め更に上海倫敦其他の地に散在せる同志を糾合するの計畫なりと言へり一行の浦鹽脫出の際の如きは悉く波止場迄

貨物列車に 乘せて鎖閉し夜陰潛かに同船に逃りたるものにて同船の解纜に當りては一行悉く甲板上に現はれ『浦鹽よさらば』この思ひ出多き名殘の聲を止めたりといふ、一行は殆どハバロフスク及びニコライスク其他の方面に散在し居たる者にて我軍の保護を受居りし者なるが浦鹽に來るや更に

我軍の爲に 閑まはれ居りし者なり一行の年長者は五十六歲にて生後二箇月の乳吞兒を抱いたる母さへあり又父も母も何處にあるさへ不明の幼兒もありて人生の悲哀を集めたる此一行は今將に異國の空へ漂はんとするかの如く想へるらしき氣色あるは道に虎口を遁れ

漂浪の民の 身の上から同情せらる一行は同船が四日午後三時解纜する事とて兎も角上陸を許されたるも今稅關構內で檢査中なり一行の所持金は十萬以上百圓以內にて甚だしきは六人家族にて三十圓のみより持たざるもある由何れ東京より來り居れるロザノフ將軍麾下の大尉の

持參せる金 の分配に依り其の行先も決する筈なり（四日午前十一時半　元山特電川延發）

二百餘名四散か
落人のやうにもなく
宿に入りての騷々しさ

四日午前八時元山稅關構內に上陸せる露國避難者二百八十四名は官憲の手に大體の檢査を終り一先づ夫れ〴〵旅宿に入りたるが旅券其他の手續きに關しては宿にて取調べを了したり一行中或者は曰く我々は更に齊多に向ひ同志と共に過激派と戰爭を爲す可しと言ひ或は哈爾賓に向ふとも云ひ或は陸路東京に向ふとも語り二百八十四名は元山より四散する模樣なり宿に入れる彼等は等しく追はれ行く落人の如き模樣は更に見えず宿の食物は主として日本食を好み何れも之を要求しつゝあり一室に多きは八人もありて喧しきこと夥し元山出發は目下の所不明なるも兩三日中には出發の模樣なり

京城を經て
安東へ
金の餘裕ある者は東京

[一行]中比較的金の餘裕ある者は東京に向ふ可く其數三十名位に過ぎざる可し他は浦鹽より附添ひ來れる司令部の齋藤副官茂木中尉等引率の下に六日午前十一時元山發列車にて京城を經て中立地帶たる安東縣に送る筈一行中金無き者は露國側有志の醵金にて取敢ず出發せしむる筈なり

萬世丸門司へ
侍從長一行
を乘せて解纜

前露國皇帝侍從長トルストイ、ミカイロフスキー氏一行十名を乘せたる萬世丸は四日午後三時元山を解纜せり一行は門司に上陸

上陸後の露國避難民は各旅館に分宿せるが一切外出を禁ぜられ居れる爲め部屋若くは廊下を嬉々として戲るゝ狀態亡國を追はれたる國民とも思はれず中には前途の不安に變色の者あるも暢氣千萬なり一行二百八十四名歸す可し（元山特電）

賞金を懸けて
日本人を射殺
萬世丸船長の浦鹽談

萬世丸船長の談に據れば浦鹽には昨今尼港事件の報に接し日本人狙擊隊なる者現れ無燈の自動車を疾驅して日本人を目擊せば直に狙擊を爲さんとしたるも官憲の禁制に由り全く沈黙せりと其前日我騎兵隊及び步兵隊の一部は示威行軍を爲せるが若し一人の日本人を射殺せば二千圓の懸賞を得ると云ふ噂の危險甚だしきに此上無しと又三月一日の露國祭日に於ける浦鹽在留の鮮人等は示威運動を爲さんとしたるも官憲の禁制に由り全く沈黙せりと其前日我騎兵隊及び步兵隊の一部は示威行軍を爲したりと（元山特電延發）

社會組織を攪亂す
森戶大內兩氏に對する
判決理由書內容
狂激の文字を羅列し

森戶、大內兩氏に對する判決理由は頗る長文のものにて冒頭論文中の重要點を擧げ朝憲紊亂の廉に抵觸せざるを云ひ最後に其の所謂我國家組織の大綱たる統治權の改廢に亘り更に憲法に依りて保證されたる私有財產制度の撤回に及び社會理想として無政府共產主義を主張するに當り其文中無懲に狂激の文字を羅列して現行の國家制度或は經濟組織を攪亂し徒らに惑亂的の用語を以て無政府共產主義を鼓吹せる主旨を自體に於て極めて重大にして行論文に接する一般民衆をして或は我國家の統治權に疑惑を挾ましめ或は個人の所有權を蔑視せしむるの風を釀成し特には進んで我國體の大本を紛擾するの思想を助長醸成す可き素因を爲すの危險あるものと云ふ可く從つて社會組織を攪亂する處ある事項即ち安寧秩序を紊亂すべき事項を新聞したるものと認定するを相當とす云々（東京特電）

陸軍自動車
氷上運轉
豫期以上の成績を收めた
木村大尉語る

過般來哈爾賓地方に於て軍用自動車試運轉を行ひつゝありし木村大尉一行は四日朝釜山著松井旅館に投宿したるが同大尉は語る試驗委員三十二名の一行は二月八日哈爾賓に著し同地を中心として各所に種々の試運轉を行ひたるが大體に於て豫期以上の好成績を得陜路の如きは三分の一の急勾配迄運轉し得るを確かめたり又特に嚴寒期を選びたるは松花江氷上の運轉試驗を行ふ爲めなりし云々因に一行は御用船萬世丸の釜山著を待ち同船にて宇品に上陸歸京の豫定なりと（釜山特電）

自動車に投
石した
犯人捕はる

三日正午頃南大門通りに於て擬藩行中の李某が自動車に投石し逃走したる犯人ありたることは既報の如くなるが平壤署に於ては右犯人嚴探中の處同日午後に至り府內竹典里洪某（二〇）の行爲なること判明したるを以て直に逮捕し目下取調中

新聞社長拘引
大邱に向け護送

東京〇〇〇新聞社長伊●●●雄（三〇）は大邱地方法院豫審判事の令狀に依り東京地方裁判所豫審判事に拘引され目下大邱に向け護送され居るが多分今明日中に大邱に到著すべし事件の內容は未だ發表の自由を得せざれ

ば時機を待つて報復する處あるべし（大邱）

全南に天然痘
蔓延の兆あり

全南珍島郡に天然痘發生蔓延の兆あり目下罹病者十三名內死亡者無きも警戒中（光州特電）

電車で大怪我

五日午前九時十分頃東大門發龍山行電車百十九號が南大門外セブランス病院前を進行中黃金町六の〇金〇弼（三〇）が該電車の救助網に觸れ右耳下に打撲擦過傷を負ひ直にセブランス病院に伴れ込み急應手當を施したるが傷は至つて輕微なりと

停車場の掏摸

忠南[illegible]田郡外南面加五里張鳳德（二〇）は二月十七日午後十時龍山驛にて慶南[illegible]道面九[illegible]淑賢（三四）の懷中より現金[illegible]圓五十錢入蟇口を掏り取り逃走せんとするを被害者が取押へ本町署に引渡し五日檢事局に送らる

罹災者に同情

[illegible]師田代利平氏は四日來社[illegible]本町火災の罹災者に同情の意を表し[illegible]罹災者中[illegible]居[illegible]六七名の者は[illegible]方に收容すべしと

府內の天然痘

府內錦町二ノ一四八合志幸太郎（四五）[illegible]町二ノ九八[illegible]一（二）中林[illegible]九孫姬葉（二一）[illegible]得某（六）は四日天然痘にて何れも順化院へ收容

○妙心寺攝心會　長谷洞妙心寺にては五日より九日まで毎夜午後七時より十時まで攝心會を行ふ由

筑前琵琶演奏會

旭[illegible]琵琶教師と共なり來る六日午後[illegible]より[illegible]演奏會を開催する由なるが曲目左の如し

此の[illegible]かりしこと[illegible]ならん因に當夜の曲目左の如し

大高源吾（旭錦）橘中佐（旭光）本能寺（旭香）村上喜劍（旭袖）中山安兵衛（旭信）湖月（旭見）齋藤實盛五絃（旭寶）巡禮[illegible]小松原五絃（旭勢）瀧戶の渡五絃（旭芳）[illegible]（旭山）船坂山五絃[illegible]（法眞山旭貞）[illegible]（旭江）湖水渡（旭[illegible]）木俊（中村松月）濱[illegible]の四季五絃（旭[illegible]）（[illegible]七人）

頃

京城地方法院は酒[illegible]豪傑ひで檢事連は誰もチヨッと一杯と云ふ酒豪揃ひ[illegible]所が[illegible]▲道事正が[illegible]的無風と云ふ[illegible]覆審法院の中村檢事長も酒の香だが客に構はず自分だけ飮み出すと最う人事不省だと▲朝人にして內地に於ける[illegible]の速であつた金[illegible]君は東京府[illegible]多摩郡書記であつたが其後總督府屬として永年內務局に勤務してゐた▲今度拔かれて咸北穩城郡守を拜命し近々出發することであるが內地の郡書記時代から茲へ來つた抱負を試みる爲めに自ら國境難治の郡を擇むで赴任したのださうだ▲君曰く『郡守は見習ひですから一苦勞やつて見る積りです』と

鮮人の利益擁護の爲め 滿洲農會を設立

近く實現せむ

奉天總領事館で目下農會規約の起草中

滿洲に於ける水田事業の有望なるや鮮人の移住經營者近時頓に劇增し來れり之等鮮人間の連絡を圖り併せて相互の利益を擁護增進すべく奉天領事館に在りては滿洲農會を設立すべく計畫を立て目下農會規約の起草中なるが近く實現すべし實現の曉は奉天を中心として逐次附近各地に及ぼす豫定なりと（奉天）

仁川在鄕軍人 分會と會員

在鄕軍人仁川分會には每年三大節及び三月十日陸軍記念日五月二十七日海軍記念日の外五月中に於ける總會等少くとも年六七回の會同をし勅諭捧讀式を擧行し軍人精神の涵養と軍事能力の增進とを圖りつゝあるが從來の會同の成績に徵するに會員の多くは官公署或は諸部團體に奉職するものにして職務の都合上折角の會同にも出席し難き者あり爲に常に少數を免かれざる模樣にして誠に遺憾とせられつゝあり分會にては之等會同の節は成るべく多數會員の參集を希望し居るは勿論以て會の目的の遂行を圖らんとするが故に將來は會員は萬障繰合せて參會せられん事を希望すると共に各官公署當事者に對しても此の趣旨を諒し出來る限り職務上にも繰合せの便宜を圖られたき旨の依賴を爲せり斯の如くして多數會員の參集を得其目的を達成するに至らば獨り分會の發展を期するのみならず邦家の爲慶賀すべき事なりとせざるべからずと（仁川）

修業年限延長 大邱實業學校は

一ケ年を三ケ年に

大邱農業學校にては明九年度より本科別科共に修業年限を延長し尙ほ入學者の募集數をも增加せしめんとし既に當局に申請する處ありたるが其後當局に於ても種々調査研究の結果漸く其必要を認むることゝなり從來の修業年限一箇年を三箇年に延長し入學募集人員は從來別科廿人を三十人に本科三十人を五十五人に增加せしめ九年度より愈實施のことに決定せり（大邱）

大邱局受拂高 廿五萬圓增加

大邱郵便局二月中の郵便貯金歲出入金及び年金恩給受拂額は受入口數五千八百十三口金額三十二萬四千二百三十七圓七十九錢二厘同上拂出し五千七百五十七口三十七萬五千百九十三圓七十七錢五厘合計一萬一千五百七十口六十九萬九千四百三十一圓五十六錢七厘にして之を前年同月に比すれば受入口數に於て一千五百餘口を減ずるも金額に於て

光州と給水 一般給水は五月

上水道は三月に竣成

光州水道工事は遲くも三月中に竣工式を擧行する豫定なりしが給水鐵管の輸送依然として捗々しからず當局にては再三之が督促をなし居れり現在の給水管幹支線埋設工程は七分方の布設を見三月中に竣工し四月より各戶の引込み線布設に着手し五月早々一般に給水するの止む無きに至れり而して給水申込みは既に官公衙の纏まり居れるも民家は追つて所定の給水條令發表を俟て申込むべしと（光州）

乘合自働車に 郵便物搭載

全南三部の試み

全南第三部にては三月一日付許可せる光州潭陽間自動車乘合營業の許可條件に『郵便局所より郵便物搭載の依賴ありたる時は自動車營業者は之を搭載すべし』と明記されたるが各地の自動車に對しても漸次此の郵便物搭載を行はしむる方針にて光州松汀里間の郵便物の如き早急之が實施を見るべく之は一般の齊しく要望せる所にて當局の處置を喜び居れり（光州）

釜山有權者數 六百卅一名

釜山商業會議所評議員選擧有權者は最近の調査によれば日鮮人合して六百卅一名にして內地人五百九十五名鮮人卅六名なりと

信託創立 總會

穀物信託會社は三日午後一時より穀物市場樓上に於いて釜山穀物信託會社の創立總會を開き役員の選擧をなしたり

海上保險近況

大阪支局一記者

保險業も海運の活躍に伴ない時の保護機關漸く整備の域に到達し[illegible]局中既設會社の增資新設會社の[illegible]し其公稱資本金は合計一億四千萬圓[illegible]會社十五社なるに保險引受消化[illegible]も[illegible]して增加し從來一般船舶保[illegible]◎戰前にあつて再保險は殆ど倫敦市場に提出せし[illegible]社は倫敦市場の再保險をも引受[illegible]をなし居れるの現狀に進みたり[illegible]勢力圈內に限定し爾餘の殘額を[illegible]倫敦市場に提供して再保險分配[illegible]敵なる勃興を來せる英米兩國に[illegible]於ける再保險會社も今や戰時保[illegible]ば是非共自衛策を講じ相互に共[illegible]助的に海上保險業の發達と共[illegible]

社長坂田文吉▲取締役井谷儀三郎、武久捨吉、小林一郎、尹炳準▲監査役秦伊三郎、祖父江新三、北原福十郎▲支配人木下芳三に決定せり、因に同社の營業開始はホームリンが跡に於て茲四五日の內開始せらるべしと（釜山）

杻峴驛成績 二月中旬

杻峴驛成績は總收入二萬四千七百五圓六十七錢にして內貨車收入八百一圓五十二錢客車收入二萬三千六百八十一圓九十八錢雜收入二百二十二圓四十七錢にして前年同期に比すれば何れも激增を來し合計に於て八千五百四十八圓十八錢を增加せり乘降人員は乘車二萬一千三百六十八名降車二萬一千九百六十二名入場人員一千九百名手小荷物發送四萬三千百四十四斤到着三萬九千二百六十斤貨物發送噸數百十五噸到着百十四噸にして之れ又增加を示せり（仁川）

水產懇話會

釜山水產關係者にて組織せる水產懇話會は三日午後六時より南濱町芳千閣に於て例會を開催せるが今回の決定せし問題は水產試驗場新設漁港問題海藻問題等にして議論沸騰裡に散會せりと

朝鮮化した內地人の子供

父に捨られ鮮人に育てられて愈々普通學校へ入學

仁川府龍岡町に姜某と云ふ鮮人勞働者がある七年前朝鮮商船會社に傭はれ當時同僚で頗る懇意にしてゐた內地人小林某と云ふがあつた、小林は或る年

妻に死に 分れ殘された二人の子供を擁して勞働も出來ず其の暮らしに苦しめる結果二人の子供の幼き女の子を花房町の某內地人に預け長男の當時五歲になる兒を懇意な姜に預けて自分は飄然として何れへか旅立つた、其の生活の途を得んが爲である、小林が仁川を去つて今

七年間に なる託された姜は自分に子供ある身であり乍ら我が兒の樣に可愛がつて今日に到つたが子供の長ずるは早いもの今年はもう十一歲となり五歲の時に母に死なれ父に捨られて以來鮮人家庭の人となり起居動作から衣服食卓萬端鮮人の慣習で育てられた子供は今では純粹の

鮮人子供 で言葉さへ國語の一言も解しない、一方小林は斯うして我兒を人に託して漂浪の旅に出たまゝ音も便りもなかつたが漸く數年を經て彼は滿洲に居る事が知れ今も猶打狗に居住してあるので本人から

警察に賴 むで種々方法を盡すが直迎へに來るとか登省料を送るとか返事はあつたが一向に實行がない、姜も勞働者の餘裕ある身でなく生活にも困るのであるがさりとて既に六七年も我が兒同樣に育てた者の愛着は中々に手放しも出來ず服裝萬端鮮人の及ばぬ

親切に此 の話を聞く者は姜の親切に泣かされるくらゐ此頃では書堂に通はせて一通りの子供の教育も受けさせたが早就學年齡も過ぎて居る是非普通學校に入學させて置きたいこの考へで其手續方を警察にも賴むで來たが肝心の戶籍が內地人であるから普通學校でも首を捻つたが事情が必ずしも拒絕すべきでないと遂に去る二日

入學の許 しをした姜は仁川署に子供を携へて出頭し入學に就て便宜を與へられた事を感謝し淚を流して初めて安堵し此の不幸の子供の上を喜んだと實父小林の非人情に反して鮮人の姜の美しい心情は誠に感心されるが斯の如くして內地人にして鮮人化した子供は將來果して幸か不幸か（仁川）

鮮人鐵道工夫 數十名逃走す

原因は不明

京釜線省峴隧道工事に從事中の石本組配下の鮮人工夫數十名は二日未明突如逃亡行方不明となりたるが大邱に入込める形跡あるを以て目下嚴探中なるも未だ發見するに至らず原因は不明なりと（大邱）

□內地視察團　忠淸北道槐山邑內にては小倉警察署長の發起に依て內鮮人を以て內地視察團を組織すべく目下準備中なるが團員の出發は多分四五月頃なるべしと（槐山）

營口より

△遼河‖下流に程局英人技師は一兩日前より遼河氷上に機械を据ゑ付け測量しつゝあるが本年は寒氣の關係上に結氷薄く多分三月二十日頃より流氷し月末頃よりは船は入港し得べしと

△營口建築界‖本年度の工事の重なるものは建物會社の借家七十戶約四十萬圓其他の建築は油房住宅、借家等約六十萬圓にして合計百萬圓を超過すべし

△取引所‖奉天に於ける日支取引所は已に解決せるより營口にても同じく日支合辦にて取引所を設立すべく目下頭事及び創立委員頻りに奔走中なり

△民國隙餞‖本年度民國隙餞は從來と異り營口の發展膨脹に伴ふ學校、殖築並びに道路、下水工事等の臨時費多額に上り爲めに非常に行き惱み居れるが近々之が第二回會議を開くべし

伊達騷動

第百六十四席　小金井芦洲講演

大事の書類讀上げ

要木彥右衛門は再び板倉侯の前に引退り 彥『御大老にも御聽るの仰せに御座ります』內『アー左樣か』と手に取上げ自分の前に置いたる封じを取除き 內『彥右衛門其者にて讀上げい……』彥『ハツ』疲いで讀上げる 彥『一、此度植村能登次郎を以て被仰候趣は吾々共取扱ひ候事この趣以の外なる事に候、兵部殿吾々共一存にて取扱ひ候儀は更に之無……』と讀掛けて非常へ一寸俯向いて眞赤に成つて更に一言半句もない、內藏正不審の面持にて 內『彥衛門其限りか……』彥『イエ……』內『其先を讀め……』內『讀め、早く讀上げぬか』彥『ヘエ……』內『讀めぬか、讀めんならば是へ出せ』

內膳讀上げやう 彥『イエ何……』と云つたが表木は實に絕對絕命の場合だ、何故だと云ふ跡は御大老酒井雅樂頭の御姓名が認めてある、現今こそ違ふ、長い者には卷かれろ、太い者には呑まれろと云つた時代で、遠慮が有つて讀めない、ト云つて讀上げなければ御役御免だ、心の中に讀めば何れ押打を食ふし、讀まなければ免職、何の道逃れ難いのだから寧そ讀上げて役目を濟まして、速かに御役御免を願ふより外致方ないと漸く決心が著いたか口の內で 彥『天下大老酒井……雅樂頭殿の御下知に候……』內『コリヤ彥右衛門聞こらん、判らん今一應大音にて明瞭に讀上げへ……』彥『エ、天下大老酒井……雅樂頭殿の御下知に候、運上並に田畑年貢繩入等是亦御大老酒井雅樂頭殿の御下知に御座候、總じて我々より申し送り候儀は、皆大老酒井雅樂頭殿御下知に御座候、右の通り斷くに宥め置き、植村能登次郎を以て申す旨を以て、彼等の許へ右の次第を問ひ合せましたる所其返事、唯今御讀み立てに相成りたる書面に御座候、篤と御調べを願ひ奉ります』內『ウーン左樣であるか、暫く待て』と大老の方に打向ひ 內『唯今訴訟人より差出したる書面、全く御大老には伊達家の事に御差圖遊ばして御座るか伺ひ度い』雅『酒井』雅樂頭は怒氣滿面に溢れて大音聲 雅『雅樂は天下の大老職伊達の臣下ではあらざるぞ、何とて左樣な事に一々差圖致さうや、雅樂は知らん』と座中に響き渡つた、板倉はニッコと笑ひ 內『御存じもしは御道理の次第…サ原田甲斐面を擧げへ、御大老には一向知らんと仰せあるぞ、然らば汝一存を以て大老の御名を僞り遠國の士民を苦しめたるか……サ何うぢや申し譯あるか聞かん』息荒く問ひ掛ると、大膽不敵の甲斐宗則更に驚く景色なく

りに候へば其趣を以て、願ひ一統へ被申候、猶ほ御疑念も有之候はば出府致され、直々に御伺ひ下さるべく候以上、伊達兵部少輔、原田甲斐、國表御一門御一家宿老御中』と讀上げました時は、滿座一同顏見合せて只呆然たるばかり、御大老は只下を向いて寂々とした、此の時滿座は 內『コリヤ安藝、此の書面は如何なる譯の書面なるぞ』安『ハ、正は如何なる譯の書面なるぞ』安『ハ、ツ國表諸運上年貢等年々增加仕り、領中人民穩かならず、何等の所以を以て斯く年々增加に付、我々共も致し方なく江戶表へ一應使を立て、確と承はり度く存じまして書面に相成りましたる書面を以て押し掛けたる者を差用して

甲『唯今伊達安藝より差出したる書面一應拜見仕り度し』內『御目付より甲斐の手許へ差出すを恭しく取上げ篤と打眺めニヤリ笑みを含み 甲『偖て〳〵伊達安藝は盜用な者で御座る、能くも〳〵私の手跡を斯まで僞ましたな……容易ならざる御大老の御姓名などを書面に認めます者が御座りませうや、是安藝の謀書に御座ります、不屆き至極の者が斯る僞りの書面を以て上を欺き拙者を罪に落さんなどとは言語道斷、何卒篤と御調べ願ひ奉ります』

會席御料理
竹の家 改め 岩翠
京城南山町二丁目總督府別莊下　電話壹一六三番

新棋譜（其四）

於黃金町三丁目二五　滿呂木將棋所

七段 ▲矢野逸郎（撫順）
六段 △滿呂木光治（京城）
香落

（前局指了迄の局面）△持駒 滿呂木氏 桂歩

△五五步▲七四飛△六五銀▲三四飛△四二馬▲四六步▲同步△四四飛△七五馬▲四六飛△五四步▲四三飛（ホ）△四四步▲二三（ヘ）△同步▲六四桂（ト）△三三飛▲四三桂ナル△三五▲同飛△同角△三二角（チ）（以下次號）

合評

△（ホ）四三飛引きは惡手なり兎に角六四桂と歸ける處なり
△（ヘ）四七銀惡し此處四五桂と打ち攻擊する處なり
△（ト）三五桂打ち早し此處四六銀と立ちて後ちに三五桂打ちを含む方優れり
△（チ）三二角打ちは二一角打ちの方穩かなり

皮膚科 黴毒 皮膚病 泌尿病（診察夜九時迄）
佐藤醫院（へ院長 醫學）
京城明治町一丁目　電話一七壹參

三月七日

（舊）正月十七日 日曜日 赤口 ▲きのへ戌 ▲七赤 ▲大安 ▲危 ▲收

▼七赤▲意外な事の起り易き日
▼八白▲又と無き好き日丈け愼を深くし吉運を捕捉すべし
▼九紫▲得て衝突の起り易き日
▼一白▲何か一變動起らんとする日なれど誠意に吉運を迎ふ可し
▼二黑▲午前中或は不如意ならんも午後より何か好き事あらん
▼三碧▲惡さうに見ゆて其の實倚合の籠る日但し油斷は禁物也
▼四綠▲餘計な事に手を不可出
▼五黃▲自分の氣の取り樣次第にては頗る面白く暮せる日なり
▼六白▲兎角疑心の起り易き日なれど迷ひを去らば面白き日也

演藝案內

黃金町 大正館　電本局八七三
三月五日より特選映畫提供 ◎實寫 歐洲大戰の實況 長尺 ◎滑稽劇『戀の親切』長尺
日活會社向島派總出演 新派悲劇『新壺阪』全四千呎
米國ラスキー會社大傑作 活劇 ジャガーの爪
日活會社新規撮影 舊劇『霧隱才藏』全四百場

黃金町 黃金館　電一六三七
新派 女猿飛 全四卷
活劇 伯林の狼 全四卷
秘密探偵活劇 哀の曲 全六卷

本町一丁目 喜樂館（有樂館改）電九七番
三月五日より三大傑作映畫提供
新派悲劇 通夜物語 全四卷
運命の指環 四卷
天竺德兵衛 全六卷

京城明治町 浪花館　電話二六〇
△浪花界花形靑年大會一行 三月三日より每夜六時開演
（出演順は毎夜交代）

本町二丁目 壽館
第一 語り違ひ 全二場
第二 地ひゞき 全二場
第三 兄弟 全二場
第四 片身の守 全一場

純金指輪 眼鏡 時計 特約販賣
ミカト金
福岡市中洲電車通 入江九州支店

アザなまづ そばかす〳〵

雪見

化粧には―

東京や大阪等大都會で一等評判のよい純白無鉛のホーカー白粉を常に御愛用遊ばしませ!!

襟を汚さぬ新發見の―純無鉛煉製

ホーカー白粉

光榮

數多い

東京中の白粉品評會で最高點當選の光榮を得ました

□白さが極て自然的で技巧でない
□絕對に無鉛無害で安心して使へる
□ノリノビがよくムラを生じない
□日ヤケや肌アレの害を完全に防ぐ
□香ひが極めてよく艷麗さを增す

全國到る所の化粧品店雜貨店小間物店洋品店等にて販賣す、若し萬一品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖へ御注文あれ

定價 一瓶 廿五錢
送料 內地 六錢 滿鮮 四十錢

ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液
ホーカーパット

本舖 東京神田和泉橋
堀越嘉太郎商店
電話神田一四三・一四四・一四五 振替東京一一五六

京城預金貸出

京城組合銀行の二月末日に於ける預金貸出總計は預金七千二百五十萬圓貸出九千五百九十四萬圓にして内容左の如し

◎預金
定期 一八、九二四、二七六圓
當座 一三、三四九、七三九
特當 七、三四七、七八四
諸預 三、八八九、二〇四
合計 七二、五一一、〇〇六

◎貸出
貸附金 三八、五五一、八七八
當座貸越 六、六五〇、三九一
割引手形 四九、六七五、二八九
荷爲替手形 一、〇六三、五八四
合計 九五、九四一、一四二

之を上半末に比すれば預金に於て殆ど差なく貸出は二百四十萬圓を増加せり

現株事務所移轉

京城株式現物市場創立事務所は狭隘につき五日明治町朝日醸造會社内を引き拂ひ京城公會堂内に移轉したり

内地金利

三月三日現在左の如し

コール	東京	大阪
無條件	二九五〇	二二〇〇
翌日物	三〇五〇	二七五〇
六十日物	二九〇〇	二七五〇
普通割引步合	二七五〇	二七〇〇

大連銀相場

大連に於ける三月三日現在圓金對圓銀現物二百三十一圓先物二百三十一圓二十錢圓銀對上海兩七十一圓四十錢なり

◎日銀帳尻　三月三日の現在左の如し
發行高 一、二八〇、七九八、〇〇〇圓
正貨準備 九三六、五八二、〇〇〇
限外發行 二二四、二一五、〇〇〇
貸出高 五七八、四五二、〇〇〇

◎鮮銀券日報　三月三日の現在左の如し
發行高 一五三、三六五、五一六
正貨準備 五三、九四八、四六〇
限外發行 四九、四一七、〇五六

財界閑話

漢滿銀行では遂に退任した山成理事の後任に川崎大阪稅關長を推し、新に三名の理事を增員した▲そこで鮮銀の常任重役は正副頭取理事六名と云ふ事になつた譯、三名の增員理事は内部の俊秀を拔いてゐる▲鮮銀は臺銀と略同じ範圍に業務擴大し資本金は二千萬圓だけ大きい▲次期の株主總會には鮮銀理事の增員提案必ず來るべしとの豫想をしてゐる者もある▲東拓の制度改正說も隨分永いが愈々年度變りの四月一日から實行される樣に聞く京城支店も多少異動はあるだらう▲鮮内各出張所を支店に昇格するのはよいが金融の方は資金按排の關係より云ふも京城支店統一を有利としやう▲仁川取引所の僞電問題は段々擴大して來さうな雲行きもあるらしい▲僞電によつて仲買人が私腹を肥したやうの事實ありとすれば甚だ怪しからぬ譯だ▲莫迦を見たのは鮮人客筋であらう、やるさなれば徹底的にやるがよい▲

商況

株式

東京株式（至急電報）

五日第一立會前場比較

東株	五二五、一〇〇	八、八〇〇高
同新	五一六、一〇〇	九、七〇〇高
商船	二〇一、〇〇〇	八、三〇〇高
一新	一九八、六〇〇	一、三〇〇高
二新	一九九、〇〇〇	一、一〇〇安

東京現株特電

五日中値　▲騰貴　△下落

	拂込	時價
滿鐵	一〇〇、〇〇	一三四、〇〇〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	……
同新	五〇、〇〇	……
東拓	五〇、〇〇	……
一新	三七、五〇	……
二新	一二、五〇	……
殖銀	五〇、〇〇	△一一三、五〇〇
東亞	一二、五〇	……

大阪株式（至急電報）

	四日後場大引	五日前場寄付
大株	四九三、〇〇〇	四九二、二〇〇
同新	四八四、一〇〇	四八四、九〇〇
郵船	二一五、〇〇〇	二一四、一〇〇
同新	一三〇、一〇〇	一二九、八〇〇
商船	一二二、五〇〇	一二一、四〇〇
同新	一二一、〇〇〇	一二一、五〇〇
鐘紡	五六四、〇〇〇	五五九、九〇〇
同新	五四六、〇〇〇	五四〇、一〇〇
東紡	三四六、一〇〇	三四四、九〇〇
東新	一三四、〇〇〇	一三四、〇〇〇
東米	一三二、九〇〇	一三三、〇〇〇
上取	一五二、一〇〇	……

安東現株特電

五日

	當限	先物
安東信託（寄）	三九、〇〇	三六、二〇〇
（止）	三八、〇〇	三七、二〇〇
▲當限出來高		一〇〇枚
▲先限出來高		四六〇枚
滿洲鐵道（寄）	五一、五〇	五一、五〇
（止）	五一、五〇	五一、五〇
▲當限出來高		一〇〇枚
▲先限出來高		二〇〇枚

京城現株

標準價段　▲印騰貴　△印下落

	拂込額	標準價
仁取	三九、〇〇	△三〇、〇〇〇 三九、〇〇〇
京株權利		七三、〇〇〇
東拓	五〇、〇〇	四一、〇〇〇
一新	三七、五〇	四一、〇〇〇
二新	一二、五〇	一七、〇〇〇
朝郵	二五、〇〇	二八、〇〇〇
電興	一二、五〇	一六、〇〇〇
皮革	二五、〇〇	四二、〇〇〇
東畜	二五、〇〇	六二、〇〇〇
朝紡	二五、〇〇	六〇、〇〇〇
製紙	二五、〇〇	二三、〇〇〇
朝銀	五〇、〇〇	一五、〇〇〇
同新	二五、〇〇	六〇、五〇〇
朝毛	二五、〇〇	四八、〇〇〇
同新	一二、五〇	三八、五〇〇
鮮土	四〇、〇〇	▲二五、〇〇〇
東亞	一二、五〇	九七、〇〇〇
同新	一二、五〇	三八、五〇〇
鮮鐵	五〇、〇〇	▲六、五〇〇
中鐵	一二、五〇	一二、五〇〇
朝鐵	五〇、〇〇	一五、〇〇〇
南鐵	五〇、〇〇	五五、〇〇〇
安信	一二、五〇	五七、〇〇〇
日信	一二、五〇	一五、五〇〇
京銀	二〇、〇〇	▲三八、〇〇〇
鐵證	一二、五〇	四五、〇〇〇
朝日	一二、五〇	二六、〇〇〇
朝肥	一二、五〇	三七、〇〇〇
大土	一二、五〇	一八、五〇〇
漢銀	二五、〇〇	一六、〇〇〇 五四、〇〇〇

東京現株別報

東株五一、〇〇△滿鐵一新一八五、〇〇△郵船二二四、〇〇△商船一七〇、〇〇△鐘紡五四三、〇〇△東拓一新九〇、〇〇△滿鐵一八五、〇〇△鮮銀一二三、〇〇△鮮銀二二三、〇〇△朝紡四〇、〇〇（四日二和商店入電）

京城現株市況

今朝は仁取更に一段の安唱へさなり甚だしきは二百圓ドタにも放さんとする者あり人氣減切り惡化せり京株權利は公募二千二百倍に達せる好況に少數申込者の御斷念より弗々賣物出來るも相場は其割引締らず依然買氣を維持して變らず東拓一新は某店へ三十七八圓賣四十圓買見當を唱へ九十圓の入電ありたるも恐らく來る十五日の拂込みを加算したる相場なるべしと稱せらる又鮮銀二百十三圓と前電より十圓方の下値を入れたる向あるも未だ各所入電一致せず殖銀も安東信託も氣配ボケに一圓安の商内あり

公債株式現物賣買　李章魯商店證券部　京城南大門通三丁目　電話長三四五番 五〇五番 五〇八番 八〇〇番

り森林鐵道は遙かに買氣付き高値七圓の手合ありて二圓のプレミアム附となれり昨午後より今朝に亘る手合平均値左の如し

京株權利	三九、五〇〇	六〇〇
東拓二新	四一、〇〇〇	一二五〇
森林鐵道	六、五〇〇	一二〇〇
朝鮮紡織	四二、〇〇〇	一五〇〇
安東信託	三八、〇〇〇	一〇五〇
殖産銀行	二四、〇〇〇	一五五〇
仁川取引	二五、〇〇〇	四〇〇
南鮮鐵道	六、〇〇〇	二〇〇
朝鮮土地	二五、〇〇〇	三〇〇
大連證券	一三、五〇〇	二〇〇〇
朝鮮電興	一七、〇〇〇	一〇〇〇
日本信銀	四五、五〇〇	一〇〇〇
漢銀行	五四、五〇〇	一五〇〇
朝日醸造	一五、五〇〇	一〇〇〇
合同紡織	二七、八〇〇	一五〇〇

▲有價證券現物問屋▲　金龍商會　京城長橋町六〇　電話一八九三 一八五〇番

再び反落傾向

新甫…爆發高を演じたる東亞式相場は昨今再び反落歩調を辿り今朝入電は更に本株八圓八十錢新東七圓七十錢安滿鐵親八圓三十一錢安一新一圓三十錢安二新一圓十錢安を入れ大株又前場に比し新舊十圓方郵船五圓安新小三圓安商船二圓四十錢安新鐘紡十圓安新十六圓安東紡二圓安を示したり

仁取底拔けか

仁川取引所株は曩に僞電事件發生以來兎角人氣に一頓挫を來したる機先京株の申込人氣沸騰したる等にて之れが資金に乘換へるものあり益々商内の減少を云爲する者あるに加へて例の昨今再び節商後の出來高減の僞電事件の飛沫は各方面に擴張して其の後續々被召喚者を出しつゝある噂に人氣は彌が上にも惡化して今朝の如き二百圓ドタ遣りの聲さへ聞くに至れるが

公債株式現物問屋　三高松商會　京城府本町二丁目　電話長三〇八番 二六〇六番

未だ商談纏まらざりし者の如く此鼻或は二百圓の大關門を潰らざるかとも稱せらる

京株變らず

京株は熾烈なる應募數二千二百倍の盛況を呈したるに係はらず賣物成行の時價は案外引締らず依然三十七八圓賣四十圓ヤリ見當に保合ひ居れるは最初の豫約賣買に當り四十五七圓より五十圓迄も買進みて手を燒きたる者の多きより一般に人氣に熱する事を避けるべく來る二十日の第一回拂込期日迄には尚は相當の投物を期待さるゝ折柄茲當分弱保合ひを脱せざるべく觀測さる

森林鐵道引締

森林鐵道株はパルプ工業株の制限を見越し當てを嗚物に昨今頓に買氣付き遂に高値は七圓の手合もあり二圓のプレミアム付となれるが賣買氣向は疑ふ所あるに於いては今一段の引締を期待されつゝあり

取引制度缺陷論　東京市場臨時休會に就て

取引所が臨時休會の理由として一般商務當局に申請したる處によれば、出來高激增して帳簿整理不能なる上追徵金徵收の手續上困難なる爲めとあり

一日發會當日の出來高は如何にも五十五萬一千餘株にして取引所創業以來未曾有の巨額なり、昨年新記錄として謳はれたる四十萬二千株を以てしてさへ尚ほ翌日の立會を開始する能はざりしに見れば、夫れよりも更らに十數萬株の增加を來たせる此の巨額の出來高を以てしては整理困難にして立會の繼續を見る能はざるは論なし寧ろ之れ當然のことなら可し　又一日の立會が完全に終了を告げしは午後六時四十分にして、追徵金々額は僅々五百七十餘萬圓に過ぎず、斯くも帳簿整理に對する能力が如何に完備し居たりとて翌日立會定刻までに即追徵金の完納を期し難きや一目瞭然たることなり　即ち出來高の激增によりて立會を繼續する能はざるは明白なる事實なるも、又た反面より見る時は現行法の下に在る制度が如何に不備缺陷の甚だしきかを立證するに足る可し

現行法の下にある制度を以てする時は五十五萬の出來高は如何にも空前の巨額にして整理不能なる可し然れども財力の膨脹に伴ふ證券の激增よりする員額の要求は果して其の五十五萬株の出來高にて充たされりや、如何チヨンく〳〵カチく〳〵午前九時過寄附一廻の立會にて行はれたる郵船株の賣買は時々刻々時を遷して起り來たる終日必要の取引を完全に消化し得たりと言ふべき歟午前九時過十分か精々二十分間に行はれたる取引は終日必要とする取引の何十分一乃至何百分の一に過ぎざるは事理明白にて無意味の休業を爲さゞる可らざる理由も亦此處にあり とするば現制度の下にある取引は既に社會一般の必要とする者を消化する能はざる事を證明せり

微妙の經濟作用より起り來れる危險を轉嫁せんとする必要の取引機關は斯くの如し、而して此の缺陷に對して何等改善を加へんとするの誠意なく、其の缺陷を唯一の理由として增資計畫を遂行せんとするが如きは益々其害毒を社會に彌漫せんとするものにあらずして何ぞ黨略主義一點張の現閣のとれは或ひは斯る無意義の增資を許可するこさなしとはいひ難く之れが爲めに相場も更に大に狂騰するとなきを保す可からず、然れども無限に激增し來たる證券取引の滑化は限的現制度の下　幾億幾十億の增資を以てするも其の目的は達せざる可し（東京より）

現株 [illegible] 問屋 [illegible] 商店 長電話 [illegible] 番

現株賣買　京城永樂町二丁目　山六商會　電話長一八六番 二二六番

現物證券　京城永樂町二丁目　有價　金加商店　電話一五八番

米況

東京期米特電

◎五日前場　當限寄付 五十圓六十二錢　中限寄付 五十圓九十錢
◎四日後場　寄付 …… 高値 五二、〇〇 安値 五一、八九 止め 五一、八九
五日前場 五一、九九

大阪期米特電

◎五日前場　當限寄付 五十圓二十六錢　止め ……　同限寄付 五十圓二十四錢　止め ……
◎四日後場　寄付 五〇、二三　高値 五〇、三一　安値 五〇、二三　止め 五〇、二三
◎三日後場　當限寄付 ……　中限寄付 ……　先限寄付 ……
五日前場 五〇、二三

神戸期米特電

◎四日後場　寄付 五〇、二〇　高値 五〇、二九　安値 五〇、一九　止め 五〇、一九
五日前場 五〇、二一

釜山正米特電

内地期米變らざるも稍々含みの狀態にて三等神力四十九圓九十錢乃至五十圓、穀良五十圓三十錢所にて二千叺出來

群山正米特電

大豆京釜物二十八圓七十錢所にて七百叺出來（五日）

仁川期米

本月末四十九圓六十錢來月中物九圓九十錢先五十圓三錢現物四十九圓九十錢（五日）

仁川米豆取引所仲買人　布井仲買店　電話 三六番 五四番

五日前場（焦付）

昨後場阪地の安移りに買氣を阻止せし場面は四十九圓〇三錢と崩れ小口の手詰め買ひに十四錢迄小戻して打止め折柄引跡大阪十四圓二十三錢と手堅く止め今朝の氣配變らざるに意氣消沈の買方連も弗々買手を振りて氣勢を昂めんとするに當出來ざるが中㊥山布の買ひに九圓ドタより〇三錢と締り先十五錢と進む一丁高に寄付きしも㊃㊄其他の賣りに二十二錢と跳返し軟派の戻り賣りに二十四錢と弛みしが手堅く引

▲第二節　當出來中㊥山布の買ひ〇四錢より六錢と締り二十錢と同事に始め二錢と殆ど無商内の光景に焦付く

▲第三節　當出來不中㊥の買に十錢より一錢と締まりしが先限も全買に二十一錢と手堅く始め會（中）（六）大五の買向ひに引

▲第四節　當出來不中㊥山布の買に十二錢と氣丈に始め二十四錢と締まりしかば先限も自然に八錢と締まし大五買に二十錢と始め㊦㊀其他の買には小口詰めに合○才㊀の買物現はれ二十六錢

▲第五節　大阪前寄五十圓二十錢と前日止めと同事の移りに二錢と幾分割高思ひの賣物を喚び當限も出來ず中限もさりしも中円買力買にて

中限高に下游る

六十三丁目く〳〵二十三錢と安せしが中限高に促がされ六錢と小強く跡四五錢を綜合手堅く引く阪地の連日安報を好機に正米高をも無視して賣崩しを試みんとせしかば小口買方の嫌氣投げを喚起せしめ買玉を引かんとする軟派の策戰に不勢を辿りたる作後場は將に九圓の關門をも瓦解せんとし〇三錢迄追擊し中限の如き八圓九十五錢と追込みたるも容易に投げ物はなされざるのみか却つて之れを好機に買進まんとする態度を示し軟派をして突込み賣警戒をなさしめ忽ち十錢盛返して大引せしが今朝は更に阪地電報の延着にも頓着せず中限に對する買向ひありて場面弗々引締め氣味となりしかば賣崩しを試みんとしたる軟派は時十八錢と引返したる風あること又賣に偏倚にて先限も自然之れに促がされ四節は三十錢と返し引際小口手詰めに二十四錢と小弛みて打止めしが何分正米の强硬さ使つて當中に破格の賣玉を有する有力者は飽迄現實戰を敢行せんとする態度なれば買方の情を無視し、不割、叩き居るも受渡し難く兎に角安値を突込みは警戒の要あらん

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　㋑仲買店　電話長九〇五番 四四番 八三番

各種穀物　大田　箕浦商店　長電話五二番

	四日後場	
寄付	四九、一七	
止値	四九、〇三	
止他	四九、一八	
四節	四九、一四	
一節	四九、一一	
二節	四九、一三	
三節	四九、一七	

	五日前場	
寄付	四九、二五	
止め	四九、二〇	
高値	四九、三〇	
安値	四九、一五	
一節	四九、二一	
二節	四九、二三	
三節	四九、二一	
四節	四九、二九	
五節	四九、二五	

出來高 十三萬二千二百石
張入値段 當限 四九、一二〇　中限 四九、二〇　先限

後場躍進す

前場中限高に促進されて不勢の場面を挽回せし機先大阪前場五節五十四圓四十二錢と高移りを入れ後場は徐々買氣增長して當出來ず中四十九圓三十錢と十四丁の上放れに寄付軟派の防戰に二十九錢と小弛みの買に三十錢と進みて丁高に始め八錢と躍進し其后方返せしかば先限も四十錢と十六錢武筋の防戰賣現はれ買方も安値を拂ひ引は一錢と弛み二錢と手堅く引

▲第二節　大阪前止め五十圓三十一錢の氣乘薄を入れ軟派賣崩しを試みんとし當出來ず中二十七錢と返し先三十八錢ときに九錢と返し先三十八錢と買方防戰に四十一錢と手堅く跡不勢に傾き此時恰も力武筋より七八千石の追戰賣を懸けしも㊆力買に消化せられしかば場面は忽ち活氣を呈し五六錢に激騰し結局五錢と打止めたり

現在取組高　當限 一萬九千百石　中限 三萬二千三百石　先限 三萬二千四百石

市場雜觀

建築の準備整ふ

セメント 石灰 便利瓦 フエルト 木材　義州木材株式會社中鮮代理店　大田　富士材木店

相場の支配權を握れる肝心の正米は益々硬調力を示して居るにも拘はらず相場は逆に不勢を辿り

堂島たより

地場を色分すると去年迄は大體西の谷連中は强氣で東の谷は弱氣で西の谷連中は譯のわからぬ外米を買ふく〳〵でシコタマ儲けたものだが今年は逆に不割のものを賣り叩き渡した米は消化て買方嫌がらせにもならず▲今や四苦の狀で八苦になるまでは我料連丈けに誰かが硬化するだらうと專ら取沙汰されてゐる▲あれ丈け去年儲けたのだから今年中期待苦んでもあらしよまつたかと云ふ人もあるが▲損は徐より同じ百圓でも目に立つ道理で岡半は名古屋ソローく〳〵シビレ切らしてゐる樣子▲宗勢も東京へ行くとの風評だがマサカ安場から高場へ渡米の買付までは血塗うてゐる

期米賣買委託　仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店　仁川海岸町三丁目　電話長五〇番

買玉を頑張る提灯屋も多いと云ふのだから早晩大波瀾は免れぬと思ふ上か下か何れも人氣の先を制せんと頭を惱まし居るものもあるので硬派の頭がグラ付き始めた譯ではあるまいか

京城正米市場

一昨日より昨午前に亘りて一段の强味を持し正米市場も同午後は手痛くも定期安に氣味ち後場は鮮白の下押しと相待つて聊か弛緩るみ模樣となりし今朝も引續き定期のボンヤリに市況鈍化し熾せざりしが何分賣物拂に際し急ぎ賣を要する向ある旁人氣一般朝鮮も强く割に相場は弛まず摺上玄は相變らず四十九圓二十錢見當に拔合ひを示せり

在米稍增加す

二月末日現在の京城在米高は左の一萬七千三百四十二叺白米四千五百六十二叺にして同月中旬に比し玄米一千七百叺白米四百八十五叺の增加を示せるが附近

仁川正米市場

大阪定期の安移りながら其反應鈍く當正米市場は今朝三等へ格四十九圓七十錢地揩玄米四十六圓六十錢唱へなると更に買進まんとする手口なきも手持筋は尚强硬の態度なり

粟次第に引立つ

粟は地方稍々荷動き始めたると産地人氣の强調を受けて漸次買氣を引立てつゝあり相場は尚上進の傾向を見せたるも商内の進むに連れ一錢分宛見直し居れり今朝は四十一街現物二重二十四圓八九十錢同現物扱三重二十三圓二十錢圓三重二十四圓四十錢にて出來せり

期米賣買委託　仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長一六番

大豆二十錢高

過般來人氣減入りの姿なりし大豆も前日來多少地場筋の買望みあるやにて鮮市場の一圓高を傳へ同時に一般手口も高唱へされ龍山物は三十圓六十錢と三十錢高を示せるが賃物は日より三十錢高を示せるが出廻り少しとなり合格

胡麻及綠豆躍進

胡麻は數日前迄三十七八圓見當ありしもの今朝は四十圓と躍進し綠豆又二三圓高の三十六圓となり之れ相場にとして割安の關係に跳ね上げたる動機は賃物薄と產地に迫まらし之等見越し筋の策に需要期に入りたるに因るものなり品は極めて少なり

京城在庫穀物

二月末日調査の京城在庫穀物高左の通りなるが二月中旬の在高に比し大麥五千九百三十五叺雜穀三千百八十叺小豆一千四百叺蕎麥一千三百四十袋の增加を示せるに對し綠豆六百四叺粉百十叺胡麻九百九叺の減退を示せり

大麥二、八一四叺▲小麥一、五五八叺▲糯米一、一六八叺▲粳一、五九二叺▲小豆六、〇四五叺▲大豆一、七五叺▲胡麻二、九三五叺▲雜穀八、一三四袋▲粟三、二六一叺▲蕎麥一、二六一叺▲豆粕一〇四噸▲高粱一六六〇叺

大阪三品特電

五日前場

二月限	六八一、三〇
三月限	六七九、一〇
四月限	六五八、七〇
五月限	六四〇、四〇
六月限	六三三、〇〇
七月限	六三二、八〇

大阪株式取引所仲買人　松井憲三商店　大阪北濱一
電話本局 2345 4381 4382 4383 4384 4385　長 807 808 809 810 811 812
定期部　現物部　信託部　調査部

値上廣告

今般工賃及諸材料暴騰の結果左の通り値上實行仕候間此段廣告候也
一設備損料　一孔ロニ付　金貳拾錢
一屋外管引込工費　本管ヨリ六間迄ハ一孔ロニ付金貳圓　本管ヨリ又ハ枝管ヨリ埋設セシ道路ノ地界ヨリ六間迄ハ會社負擔トシ其以上ハ壹尺ニ付金四拾錢ヲ申受ク
一新設及增設取付工費　一孔ロニ付　金貳圓
一位置變更工費　一孔ロニ付　金壹圓五拾錢
京城電氣株式會社

織元の特約店募集

手輕で立派な呉服店が經營出來る
是れ迄非常に高價で買にくかつた織物も産地では昨今非常に下落致しました少資本で呉服店を開業するには絶好の機會です、一昨年の弊店特約店募集に加入された方々も今では何れも非常に成功をして居ります今回全國に一千名限りの第二回特約店募集を開始致しました、既に呉服屋を經營して居らるゝ方も新たに開業せんとする方も非常に利益あり且つ特典ある織元持店加入の希望者は郵券十錢封入直ちに申込あれ特約規定書送る
特織物問屋　栃木縣足利町　坂本藤四郎商店　電話九〇四番・二六七番　振替東京四二五九八番
【足利は年額六千萬圓を産し本邦一の織物大産地なり】

廣告

左官賃金　一人ニ付　金五圓也
眞壁普通物　當坪ニ付　金五圓五拾錢
木摺漆喰壁普通物　當坪ニ付　金四圓五拾錢
右之通協定仕候也
大正九年三月一日
京龍左官業組合　組合長　林喜太郎

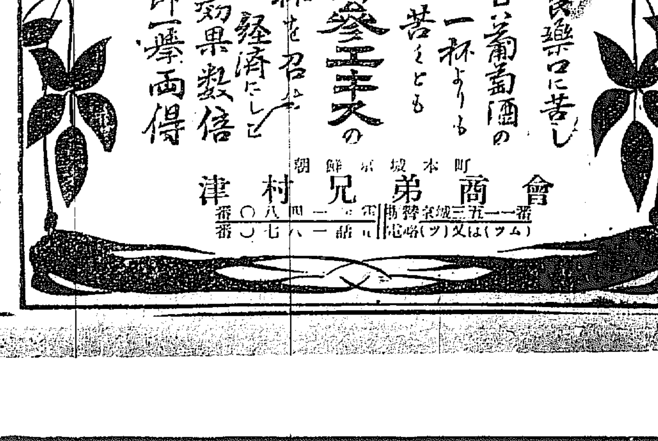
鑛山用、工業用　△水銀　荷著
保税品 有税品 共廉價販賣
天然藥品貿易商　京城本町三丁目　藤澤商店京城出張所　電話一九〇五

十二封度レール　六哩
メシス一鐵板　屑切　一五〇噸
附屬品完備　鑛具材料恰好品
右手持有之候間何卒御注文被成下度候
平壤黄金町　福莊會商　平壤支店　電話長四二八

一度買つたら二度買はなくなる
東京廣業堂總ゴム靴
◉親切と品質本位
◇東京形なるが故に體裁は高尚で優美殊に履き具合よく優に一萬哩の步行に耐ゆ且絕對に防水防寒なり
◇品質は純煉製總ゴム安物の類でなし
紐付 一二號 五圓二十錢　短靴 一號 六圓二十錢
送料（前金三十錢 海外二十錢增）引換 四十錢
◇網上ゲ及紐ナシは御注文に應ず
◇御注文は足袋文數明記の事
◇御意に入らぬ時は返金もする安心あれ
東京神田區美倉町　製造卸　廣業堂ゴム部　振替東京四二三七五番

魚釣具　投網　カスミ網
卸小賣共御申越次第定價表進呈
京城永樂町二丁目　吉備商會　電話三一四番　振替京城四三一八番

今橋式精米機　各種電氣モートル　在庫
京城南大門外　木村商會　電話長一三六四番　振替京城七〇八四番　出張所 新義州常盤町四ノ八



一般貿易 委托販賣　南鮮貿易株式會社　釜山府本町四丁目　釜山支店　電話七七九番

醫學士 富士治男氏發明　オキシデアテルミー
本器は疾病を根本的に治し健康を增進す論より證據神經衰弱腸病心臟病脚氣リヨマチ不眠ヒステリー肋膜炎胃腸病不能婦人諸病等に實用するに至れり實驗者の治療說明書は要求次第進呈す
特價金參拾圓也
朝鮮代理店　山陽電氣商會　京城黄金町三丁目　電話一四二五番

春服並夏服地新著廣告
一、英國製春服地各種
一、同夏服地レイン、コート地各種
右今般新荷仕り候に付多少共御用命仰せ付け下され度尚裁斷師も今回内地より技術優秀の者を傭聘仕り一層勉強入念新進の物を調製貴需に應ずべく候間是非此際御注文の程伏て御願申上候敬白
各御得意樣　平壤府旭町　丁子屋洋服店　電話長二七番　振替京城三五二二番

醫化學諸器械一式　藥種賣藥卸商
仁川本町　北島藥店
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店

周易家相　京城明治町二丁目　岡村介石

馬鎭守使動靜
昨日來高氣壓は支那中部に增勢し漸進しつゝあり

羅浮仙の話

美人と酌んで目覺めると身は梅樹下に眠つて居た

中村鴈治郎談

季節で申しますと、此の月はまだ桃の花といふことになつて居りますが、事實は桃には未だ早く、却つて梅の見頃の時ですから、梅に縁のあります羅浮仙のお話を申上げませう。昔支那は隋の開皇年中、趙師雄といふ人が早春の頃、羅浮山と申す所に遊び暮し、將に林間の酒肆に入らうとするところ、そこで窈窕とした美人に會ひました。其の美人は言葉は清く涼しく、身邊から馥郁とした芳香が漂つて居ります。そこで二人は誘ひ合うて共に酒肆に入つて、樂く酌み交し持した、坐に緑の衣服を纏うた童子が居りまして、歌ひ舞うて興を助けました。師雄は大醉よい心持になつて、やがて陶然として醉臥しました。暫く經つてからフト目を覺しますと、旣に東の空は白々と明けかけて居りますので、おや〳〵と思ひながら起きて、目をこすりながら見ますと自分は大きな〳〵梅の樹の下に睡て居つたのでした。

そこで初めて、あの美人こそ梅花の精であつたと氣附いたと申すことです。この美人が即ち羅浮仙で、後世書畫などによく描かれるやうになつたのでございます

▲林長三郎曰く 一寸帽子を取つて他樹に御挨拶なさいますにも清らかな芳香がすつと立ちますのと雲脂臭いにほひがいたしますのでは、お人柄までが違ふやうに思はれますから其のお身嗜みに頭髮用香水のミツワ月の雫を頭の地に振かけ刷毛で擦つて置くと眠ります爽かな芳香が漂ひ涼しさが頭の地に滲みて清々した氣分になります

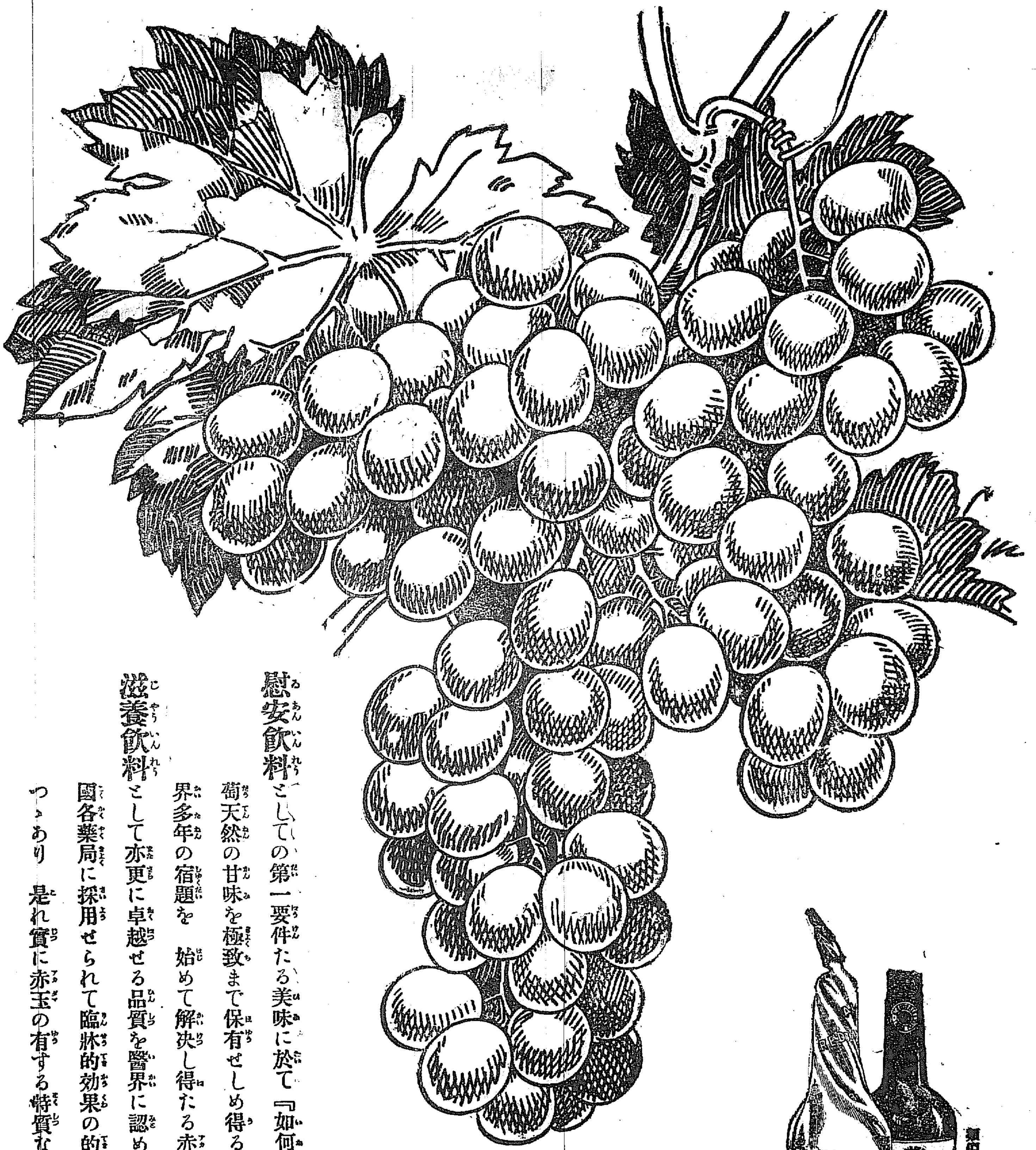
無論御存じの方も多くいられますことゝ存じますが斯様なお話は時節柄宜しいものでございます、さて梅や桃が咲きます好時節にも手足が冷たり腰が痛んだりして散策に出かけるのも

▲中村魁車曰く 薫りのツンと高い香水はつけて居りましても氣恥かしいものですが、ミツワ三百番香水は雅した上品な芳香ですから、これをつけて居りますとまことに奥床しい感じがいたします、それに種類が六とほりありまして一つ〳〵に見本の小壜がついて居りますから、お試しになつた上で御自分のお氣に召したのをお求めになられます

厭やだなどと被仰る御婦人が居られますが、其のお方は必ず子宮病の疾患に罹つて居られる證據ですから手後れになりませぬうち早くミツワ婦人湯藥を御服用になつてお癒しなさいますに本藥は處方を公開し内容を明示して病氣の癒ります理由が、一見して解りますために知識階級の方々の間に信用厚いミツワ家庭藥中の一つで膣炎、子宮内膜炎、子宮外膜炎、其他一切の御婦人病に對し秀れた効果があるのでございます

家庭治療法　醫學士小山田謙編　四六版二三〇頁
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである定價金七十錢但し特價金五十錢（郵券代用不苦）を添へ御申あれば一冊送呈す　東京日本橋區濱町丸見屋商店（振替東京七一〇番）

七博士推奨の
美味滋養葡萄酒
赤玉ポートワイン



慰安飲料としての第一要件たる美味に於て『如何にせば彼の葡萄天然の甘味を極致まで保有せしめ得るか』この釀造界多年の宿題を始めて解決し得たる赤玉葡萄酒は、
滋養飲料として亦更に卓越せる品質を醫界に認められ今や全國各藥局に採用せられて臨牀的効果の的確を肯定されつゝあり是れ實に赤玉の有する特質なり特權なり。

類似品多し●赤玉と御指定をなさい
朝夕の一杯　百藥に優る

大阪商船汽船出帆
仁川出帆
△群山以智丸大阪行　三月七日後四時出
△群山木浦大阪行　長良川丸　三月十三日後四時出
△群山木浦大阪行　大進丸　三月六日正午出帆
元山出帆
清津行　安平丸　三月十二日後九時出
釜山門司宇品神戸大阪行　宮島丸　三月六日後十二時
大連出帆
上海基隆打狗行　湖北丸　三月九日前六時出
△大進丸　三月六日正午出
内地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回　北米行　毎月一回
南米行　一年四回　西貢行　毎月一回
濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
御注意　外航所屬航路（近海航路を除く）へ連絡御乘船の際は五分引を以て一時切符發賣仕候◎御乘船客御迎致候▲本船一出帆約一時間前無賃船客ハ印客御斷
大阪商船株式會社仁川支店　電話二二番二一〇五・二五〇番
京城　仁川　京城内國通運會社支店　京城通り朝鮮旅館　仁川本町　南大門郵便切符發賣所取扱所　電話二〇八　電話二六一　電話二四二七

日本郵船仁川出帆
大連太沽牛莊行
潮州丸　二月　日正午出帆
高砂丸　二月　日正午出帆
營口丸　二月　日正午出帆
△都合ニ依リ早發スルコトアルヘシ
本船出港一時間前ニ税關前ヨリ船客送迎船ヲ以テ旅客ノ送迎イタスベク候間御乘船客ハ可成同時刻迄ニ御乘込被下度候
△但シ滿洲丸ハ丁目仁川海岸町一丁目船客待合所ニ於テ斷リ

尼崎汽船仁川出帆
△群山木浦大阪行
神代丸　三月五日後四時出
飛吉丸　三月二日後四時出
赤城丸　三月七日後四時出
大有丸　三月三日後四時出
（△印船客御斷）
仁川海岸町　電話二五九番　杉司濟部

互光商會汽船出帆
第三商業號　元山、西湖津、新浦、城津、清津行　廿三日後五時元山出
第二商業號　廿九日夜半元山出
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　十一日後九時元山出
十三日後五時釜山出
取扱店　釜山大池回漕部　元山田口回漕部

共同汽船仁川出帆
大連直行　第二共同丸　二月　日午後入港
青島直行　第十一共同丸　三月　日正午出
第十六共同丸　月　日後入港　月　日前出帆
朝鮮鐵道主要驛にて青島行定期船接續荷客連絡輸送し大連にて
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目　電話一七三番　野口商會
元山代理店　田口回漕部　電話二四七番
京城取次店　南大門通二丁目一二六〇、八一　河村運送店

朝鮮郵船定期
元山出帆取扱店吉田運輸會社
春日丸　三月十五日大連行
成鏡丸　三月十二日　[illegible]
立神丸　三月十六日　[illegible]
京畿丸　三月十　日　[illegible]
春日丸　三月　日　[illegible]
釜山出帆（取扱店大池回漕部）
春日丸　三月十七日大阪行
忠清丸　三月　日下關行
雄基丸　三月十六日北鮮行
平安丸　三月九日　[illegible]
慶興丸　三月七日　[illegible]
昌平丸　毎月　日　[illegible]
巨濟丸　三月八日　[illegible]
木浦出帆（取扱店山野回漕部）
順天丸　三月八日　[illegible]
公州丸　三月十　日　[illegible]
慶興丸　三月十　日　[illegible]
新義州丸　三月七日　[illegible]
仁川出帆（取扱店郵同漕部）
新造丸　三月十一日　[illegible]
南浦丸　毎　日　[illegible]
宗像丸　三月十　日　[illegible]
江原丸　三月八日　[illegible]
電話二二三・二二四・二三〇
朝鮮郵船株式會社
[illegible]

湖南線　京義線　同　馬山線　[illegible]